



ハイブリット屋根材

# かわら Eやね Roof

施工説明書

本州仕様 フラット

# もくじ

① 安全上のご注意 .....	1
② 施工前の工具の確認 .....	3
③ フラット 使用部材表 .....	4
④ 下地防水紙の施工 .....	6
⑤ ケラバ下地・軒先スターター・ケラバ捨板の取付 .....	7
⑥ 本谷部の施工 .....	9
⑦ 本体の施工 .....	10
⑧ 各部板金役物の施工 .....	14
GL 鋼板 棟の仕上がり .....	14
⑨ 棟(換気棟)の仕上がり .....	15
GL 鋼板仕様 .....	15
⑩ 各部板金役物の施工 .....	16
GL 鋼板 隅棟の仕上がり .....	16
⑪ 隅棟の仕上がり .....	17
⑫ 壁際の施工 1 .....	18
下地防水紙の施工 .....	18
⑬ 壁際の施工 2 .....	19
捨板と出隅・バックアップ材の施工 .....	19
⑭ 壁際の仕上げ .....	20
⑮ 同質ケラバと雨押えの施工 .....	21
隅棟用捨板のケラバ部の施工 .....	21
出隅部捨板と本体施工 .....	22
同質ケラバ(トリム)の施工 .....	23
壁際水切りの施工 .....	24
⑯ スガリ部の施工 .....	25
⑰ スガリ部の施工(同質ケラバの場合) .....	27
⑱ 仕上げのタッチアップ .....	28
⑲ 各部の納まり .....	29

# ①安全上のご注意

この度はアルミック ハイブリット屋根材「EやねかわらROOF」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
「EやねかわらROOF」を長期間安全にご使用いただくため、製品および施工上の注意をよく読み、必ずお守りください。

## ⚠危険

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。

- ・強風・雨天・降雪・雷鳴時及び屋根面が濡れている場合は施工しないで下さい。落下及び落雷事故の恐れがあります。
- ・高所作業は十分に気をつけてください。事故の恐れがあります。
- ・屋根材は電線などに触れないよう取扱い施工してください。感電事故の恐れがあります。

## ⚠警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

- ・専用カッター(ギロチン)は使用後毎に必ず刃を下ろした状態で置いてください。  
指やその他の体の部分の切断事故の恐れがあります。
- ・屋根材は 0.39mm の薄板鋼板が基材です。端部及びカット断面の取扱いには十分注意して下さい。  
けがをする可能性が想定されます。

## ⚠注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。

- ・建築基準法・消防法など建築用途・施工地域に適合した仕様をしてください。
- ・施工の際には、ヘルメットを必ず着用し必要に応じ安全带などの適切な保護具の着用をおこなってください。
- ・施工期間中、毎日の作業終了後には屋根面の清掃をしてください。
- ・屋根面表面に傷がついてしまった場合速やかに、補修をおこなってください。錆が発生する恐れがあります。
- ・シーリング・補修材などはご使用方法をご確認の上で正しくご使用ください。
- ・電気工具などの工具をご使用の際は各工事の取扱い説明書にしたがって正しくご使用ください。またその配線などは漏電しないものをご使用ください。

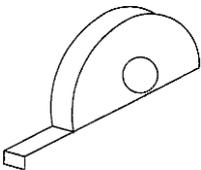
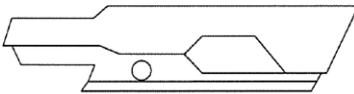
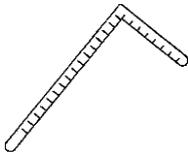
## 注意

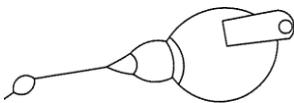
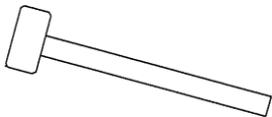
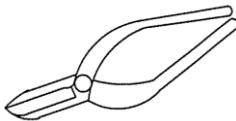
次のような注意を守らないと、製品の破損の原因になります。危険を伴う場合もあるので、必ず守ってください。

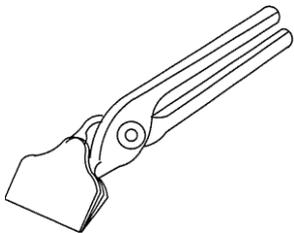
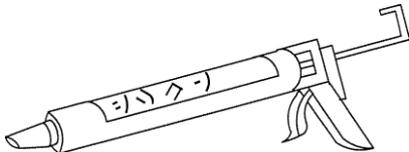
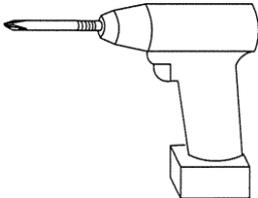
- ・本体表面に火気を近づけると表面塗膜が劣化する恐れがあります。たばこなどの火の取扱いに気を付けてください。
- ・製品の保管は、地面に直接置かず、シートを敷き、台木に乗せ防水シートをかけてください。
- ・施工時は基本的にタイル前端部谷部を歩行するようにしてください。
- ・切断はディスクグラインダーなどの電動切断機では絶対に切断しないでください。  
本体表面に切粉が付着し錆が発生する恐れがあります。切断は専用カッターにて施工してください。
- ・EやねかわらROOFは2.5寸勾配未満の屋根面には施工しないでください。  
また90°以上の屋根面には施工しないでください。
- ・施工は必ず、施工マニュアルに従った方法にて納めてください。  
特殊納めなどの部位が発生する場合には事前に必ずご相談ください。
- ・タイルの締結釘などにメッキの処理が規定以下のものを使用すると、電蝕作用が起き、アルミ層が腐食しますので、必ず釘・ビスは専用のものやステンレス系のものを使用してください。
- ・躯体への取り付けビス類については、現場の条件及び構造に適したものを使用してください。またスチール製のアンテナ・ベランダなど、錆の発生し易いものを接触させますと、もらい錆の恐れがあります。アルミやステンレス製のものを取り付けられるようにしてください。
- ・電気・ガス・水道の工事が必要な場合には必ず専門の業者に依頼してください。
- ・施工後タイル上にベランダ・クーラー・温水器・アンテナなどを取り付ける場合には、桟木を入れるなどして集中荷重を避け、荷重を分散させるようにしてください。
- ・防水を万全にするために下地に指定防水紙を使用し、接合部には適宜コーキングをおこなってください。
- ・製品の搬出入の際は、製品に直接、ワイヤー・ロープなどをかけないでください。変形・キズの原因になります。
- ・製品を取扱う際には必ず、軍手・皮手を使用してください。
- ・製品を地面で引き摺ったり、製品の上を引き摺ったりしますと擦り傷が発生し、美観をそこないますので、取扱いには十分気を付けてください。
- ・強風時の荷揚げ及び施工は避けてください。風により製品が飛ばされる恐れがあります。
- ・屋根上に荷揚げした製品は、長時間放置しないで速やかに施工をおこなってください。
- ・製品はアルカリに対して弱い傾向があります。コンクリートモルタル等との接触は避けてください。
- ・外壁のモルタル塗り・吹き付け塗装等を後工事に施工される場合はタイルを汚したり破損しないよう、養生を十分に行い作業してください。屋根面を塗料などで汚すと取れなくなる可能性があります。
- ・アンテナの固定釘などをタイル面に直接打たないでください。

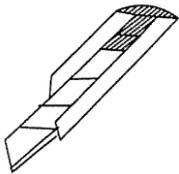
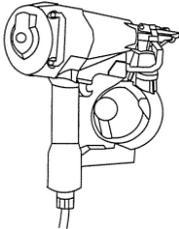
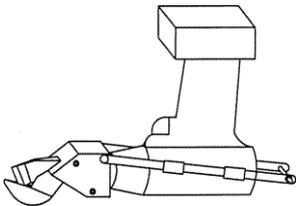
## ②施工前の工具の確認

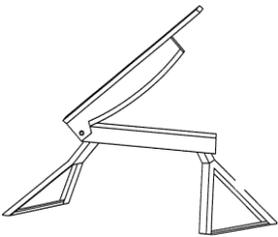
施工に際し、下記工具が必要となりますのでご準備をお願いします。

		
スケール	ハンマッカー	差し金

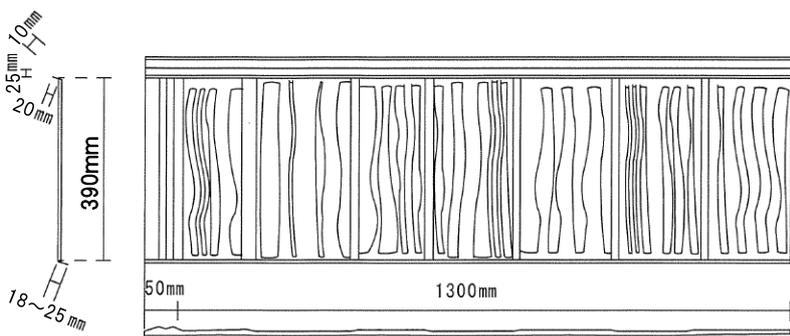
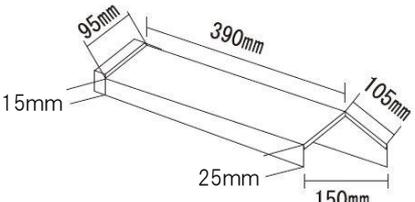
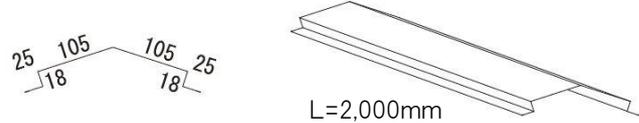
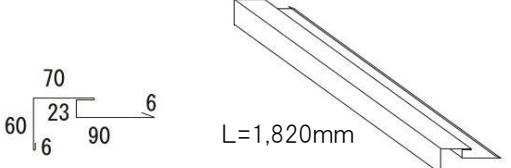
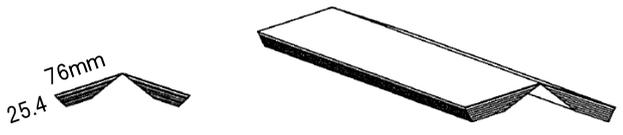
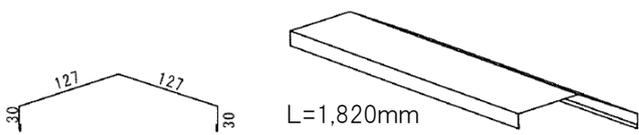
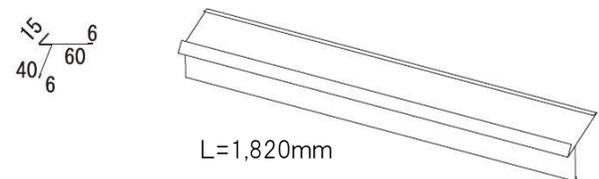
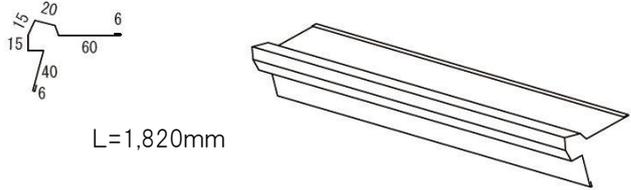
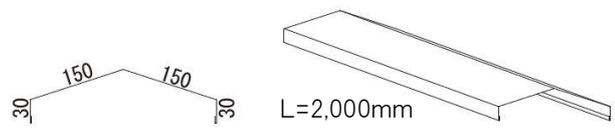
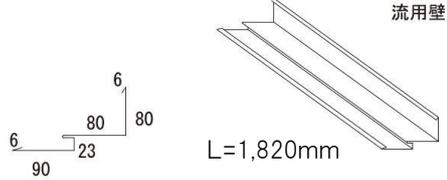
		
チョークライン	ハンマー	板金はさみ

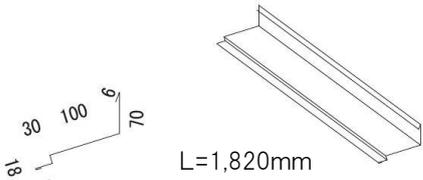
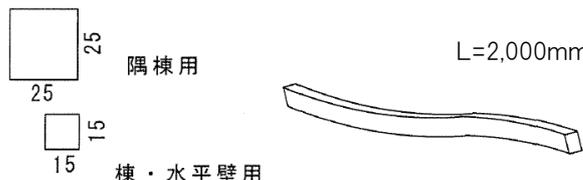
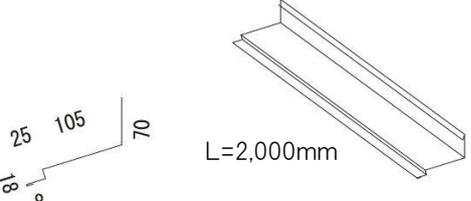
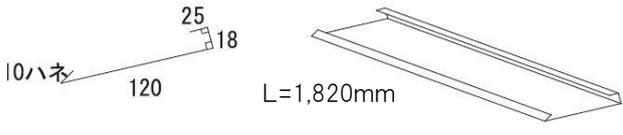
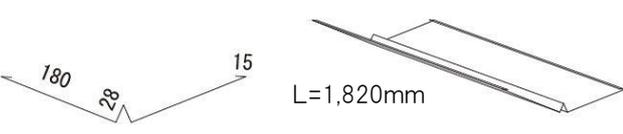
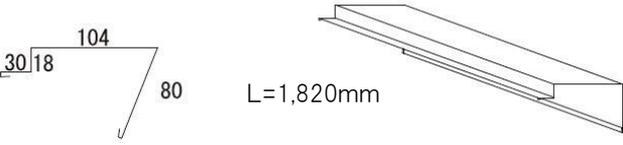
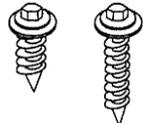
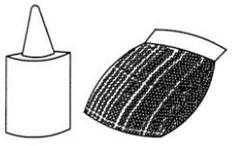
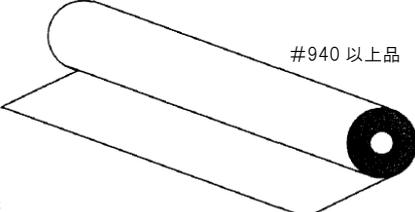
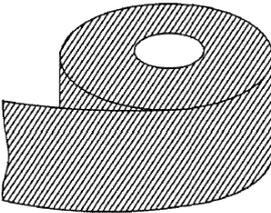
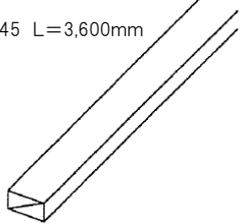
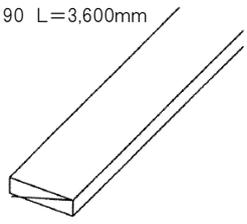
		
板金つかみ	シリコン・カートリッジガン	インパクトドライバー

		
カッター	ネイルガンJN45R エアホースとコンプレッサー(低圧型) (本体上部 釘打ち施工の場合使用)	電動はさみ ターボニアHDHX


ギロチンカッター

### ③フラット 使用部材表

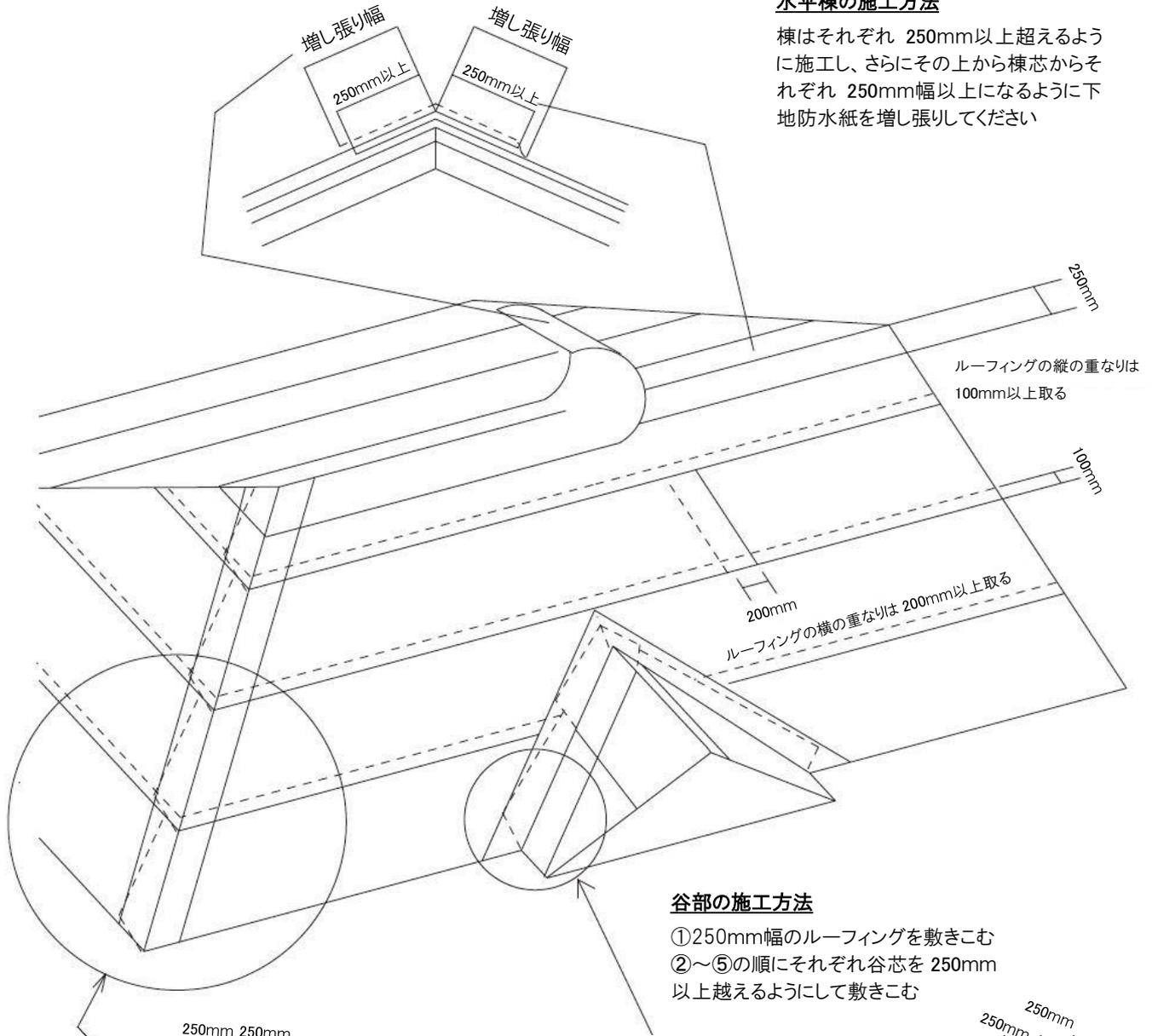
	<p>製品寸法: 1350×435mm          働き寸法: 1300×390mm          1枚あたりの重量: 3kg          1㎡あたりの枚数: 6kg          1㎡あたりの枚数: 2枚          施工可能勾配: 2.5寸以上          国土交通省不燃認定番号: NM2035</p>
<p>フラット本体(自然石粒化粧鋼板)</p>	
	
<p>同質角トリム(ケラバ用) 自然石粒仕上げ</p>	<p>同質棟カバー 自然石粒仕上げ</p>
	
<p>棟カバー GL鋼板 0.35mmカラー塗装品</p>	<p>ケラバ捨板 GL鋼板 0.35mmカラー塗装品(色:黒)</p>
	
<p>換気棟リジットベントプラス</p>	<p>換気棟カバー GL鋼板 0.35mmカラー塗装品(現地調達品)</p>
	
<p>フラットスターター/正面ビス用 GL鋼板 0.35mmカラー塗装品</p>	<p>フラット改修用スターター/正面ビス用 GL鋼板 0.35mmカラー塗装品</p>
	
<p>同質換気棟カバー 自然石粒仕上げ</p>	<p>流用壁 捨板 GL鋼板 0.35mmカラー塗装品</p>

 <p>L=1,820mm</p>	 <p>隅棟用 棟・水平壁用 L=2,000mm</p>		
<p>壁際水切 GL鋼板 0.35mmカラー塗装品</p>	<p>シーラー EPDM樹脂製</p>		
 <p>L=2,000mm</p>	 <p>10ハネ L=1,820mm</p>		
<p>同質雨押え 自然石粒仕上げ</p>	<p>隅棟用捨板 役物同質の流壁の捨てに使用</p>		
 <p>L=1,820mm</p>	 <p>L=1,820mm</p>		
<p>本谷 28 自然石粒仕上げ</p>	<p>片棟カバー GL0.35mmカラー塗装品</p>		
<p>4.2×25 と 4×50 の 2種 亜鉛メッキスクリュー ビス頭着色品</p> 	<p>ステンレス製 色:黒</p> 	<p>ステンレス頭カラー 塗装仕上げ 役物締結用 4×16</p> 	
<p>正面ビス(500本入り)</p>	<p>雪止め金具</p>	<p>役物用ビス(250本入り)</p>	<p>補修用石粒と補修材</p>
 <p>#940 以上品 1巻 6坪張</p>	<p>木下地締結用に 4.5×90 4.5×65 4.5×25</p> 	<p>2.1mmφ×32mm以上の カラーステンレス釘</p> 	
<p>下地防水紙(現地調達品)</p>	<p>木ビス(現地調達品)</p>	<p>役物釘(現地調達品)</p>	
 <p>幅 50mm程度のもの</p>	<p>15×45 L=3,600mm</p> 	<p>15×90 L=3,600mm</p> 	
<p>防水ブチルテープ(現地調達品)</p>	<p>ケラバ下地(現地調達品)</p>	<p>棟・雨押え下地(現地調達品)</p>	

## ④ 下地防水紙の施工

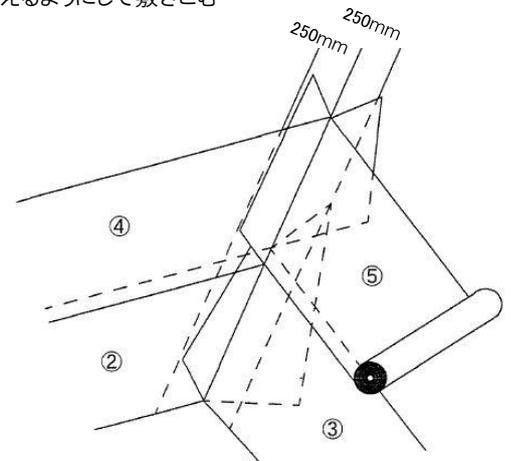
### 水平棟の施工方法

棟はそれぞれ 250mm以上超えるように施工し、さらにその上から棟芯からそれぞれ 250mm幅以上になるように下地防水紙を増し張りしてください



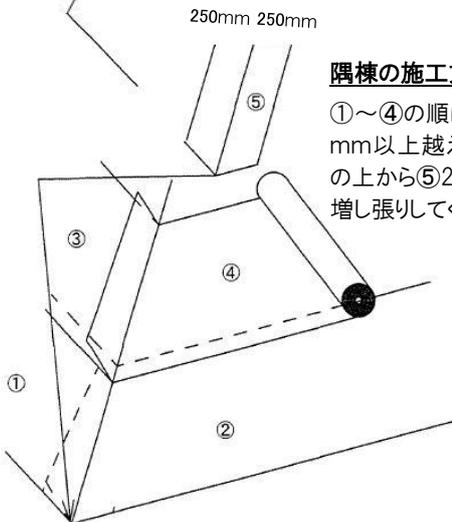
### 谷部の施工方法

- ① 250mm幅のルーフィングを敷きこむ
- ②～⑤の順にそれぞれ谷芯を 250mm以上超えるようにして敷きこむ



### 隅棟の施工方法

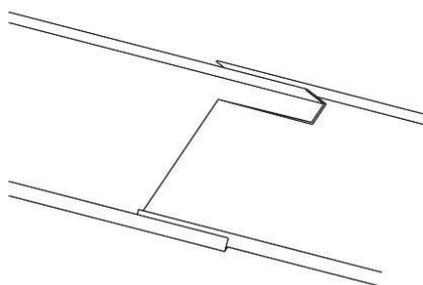
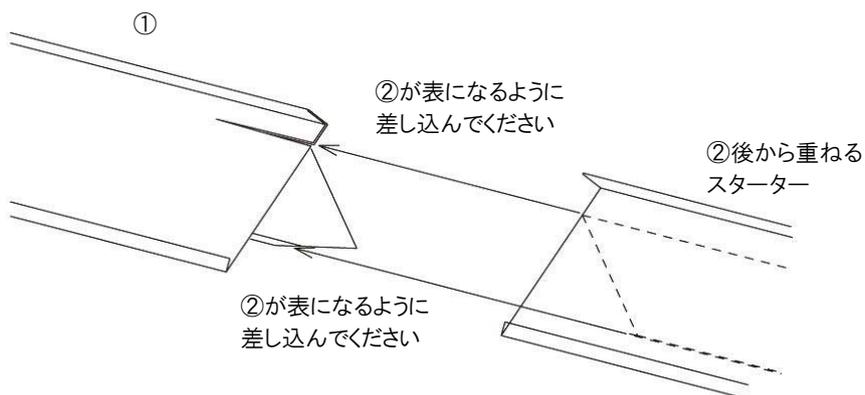
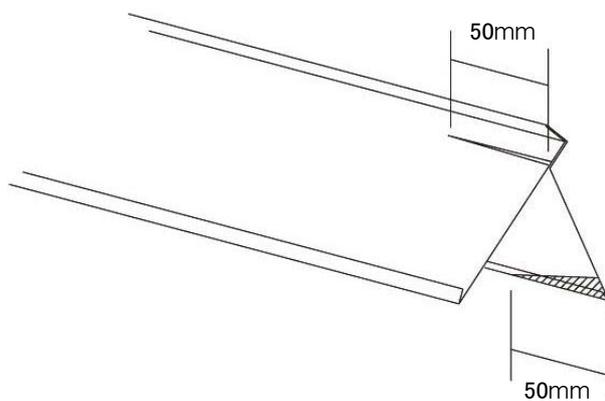
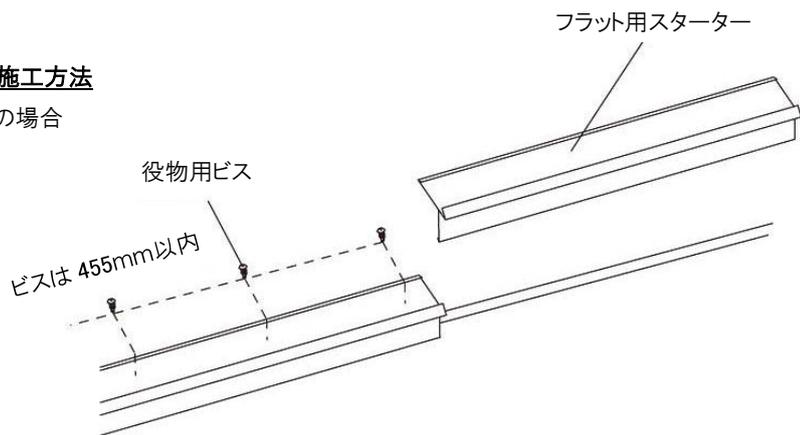
- ①～④の順にそれぞれ隅棟芯を 250mm以上超えるようにして敷き込み、その上から⑤ 250mm幅の下地防水紙を増し張りしてください



## ⑤ケラバ下地・軒先スターター・ケラバ捨板の取付

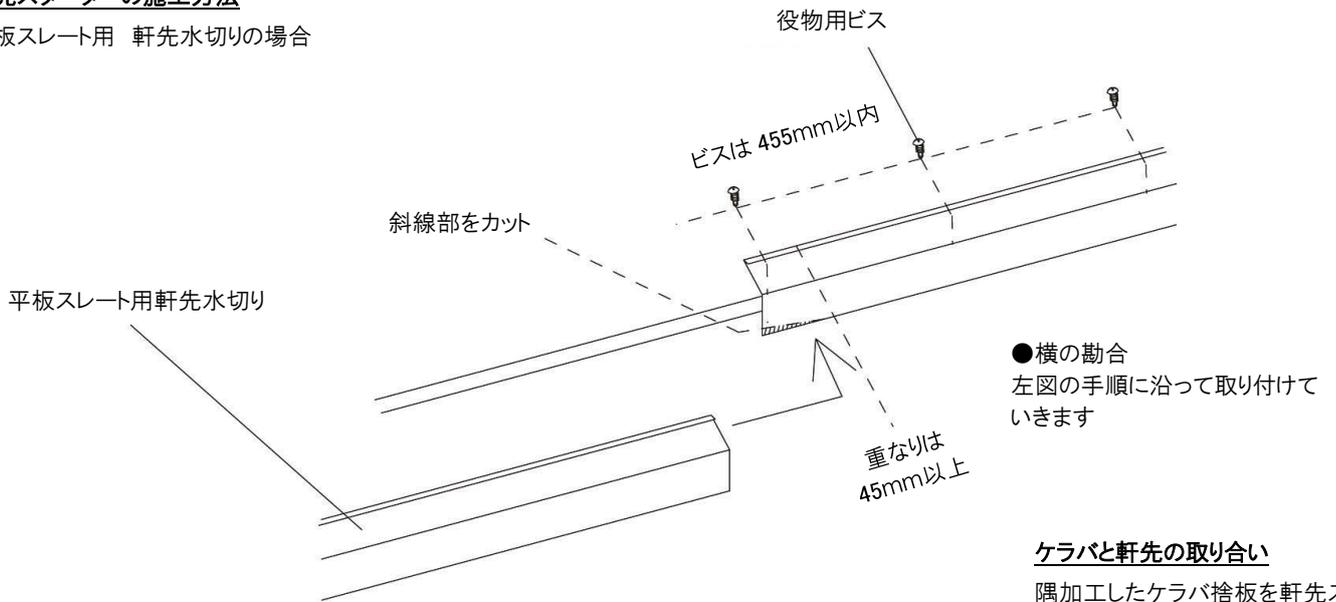
### 軒先スターターの施工方法

フラットスターターの場合

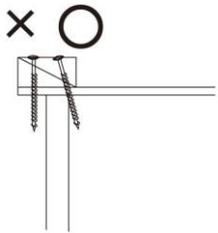


**軒先スターターの施工方法**

平板スレート用 軒先水切りの場合



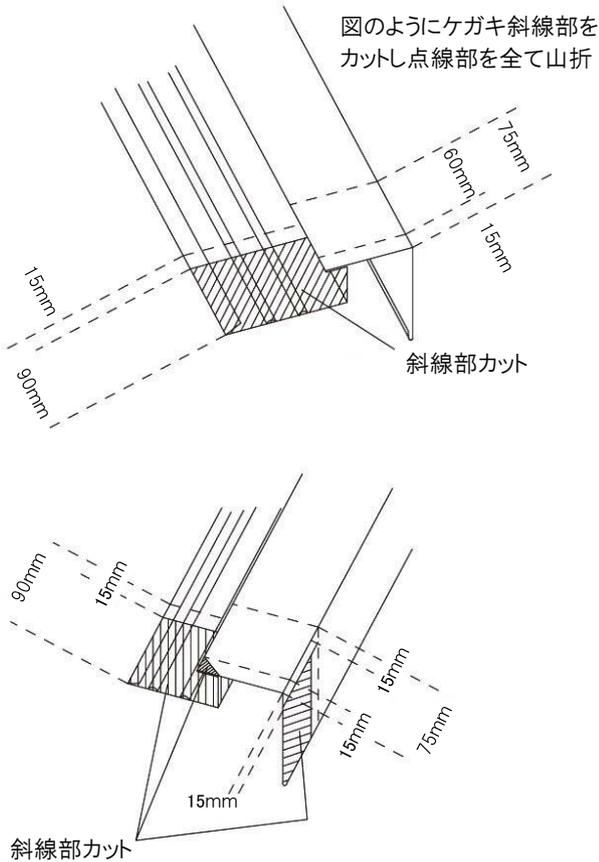
※木下地用ビスは現地調達



**ケラバ下地の施工方法**  
 ビスは上図のように留め、野地唄裏へ貫通しないように注意してください。

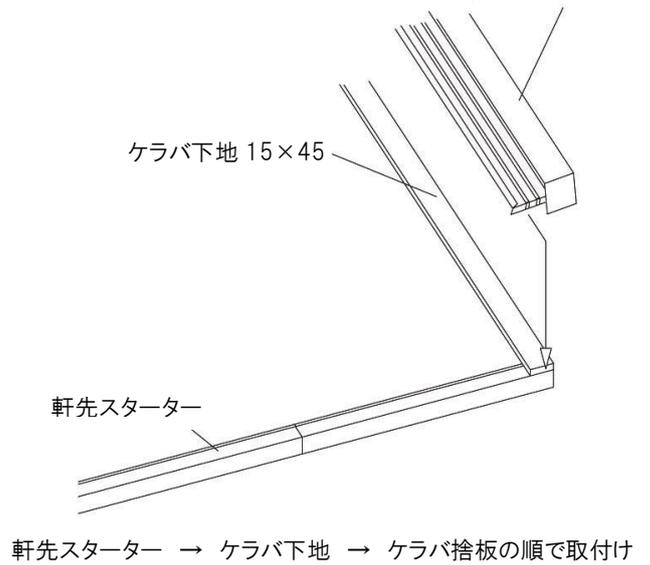
**ケラバ捨板隅の施工方法**

※同質ケラバで仕上げる場合は必要ありません。

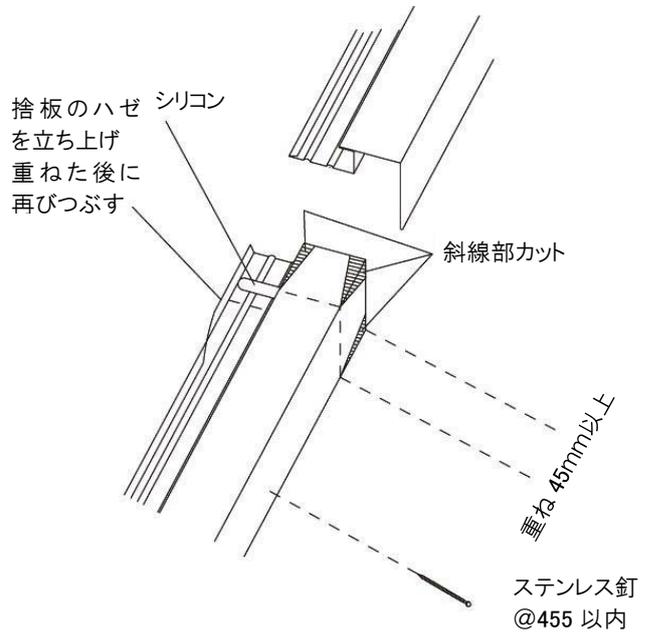


**ケラバと軒先の取り合い**

隅加工したケラバ捨板を軒先スターター施工後に取り付ける

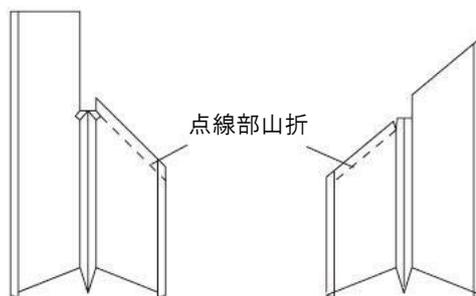
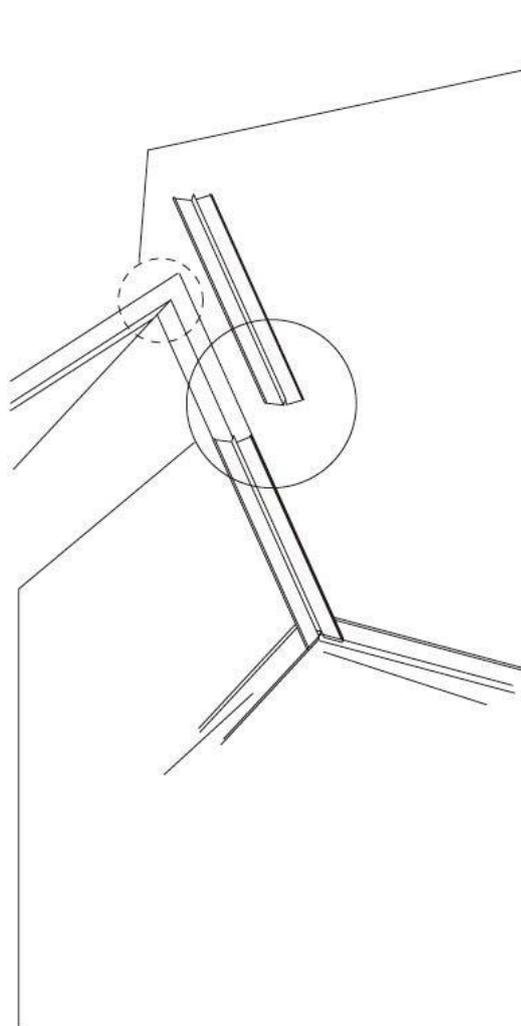


**ケラバ捨板のジョイント**



## ⑥本谷部の施工

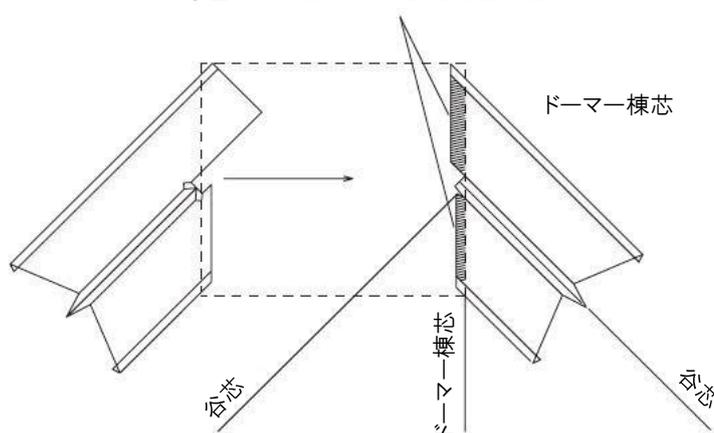
### ●本谷のドーマー頂部の加工



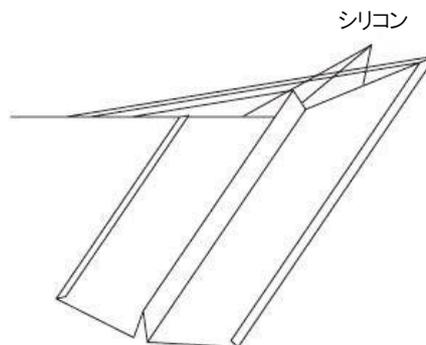
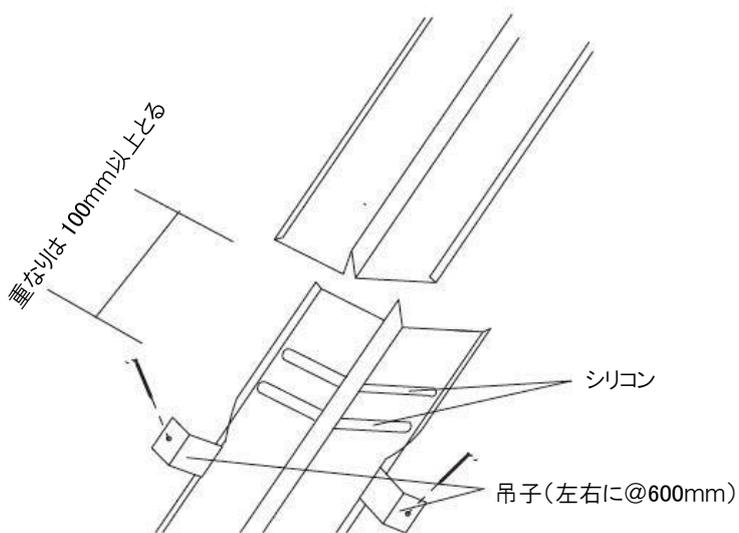
①本谷の屋根の勾配に合わせて図のように加工します

重ねあわせ部シリコン

②図の手順どおり本谷どうしを合わせます



③重ね部上にシリコンを施工



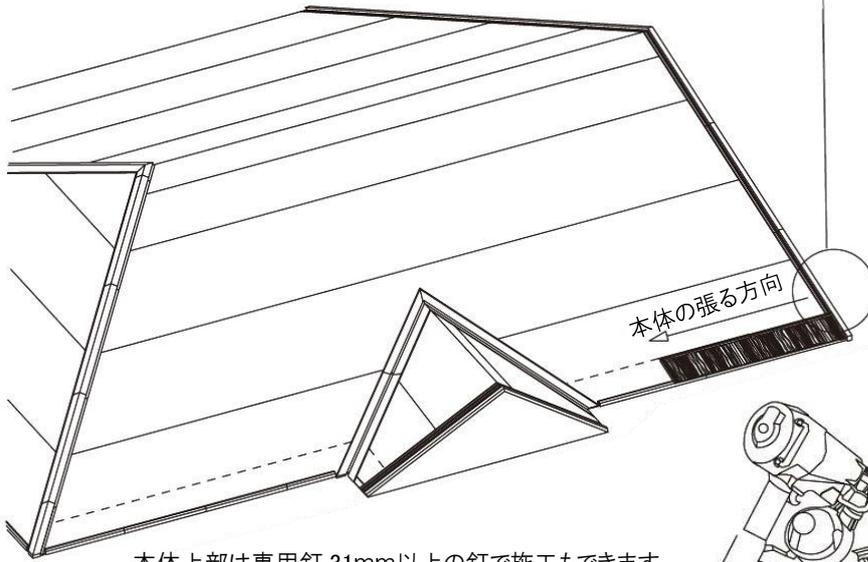
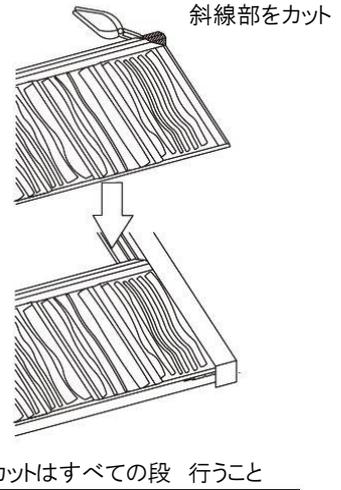
# 7 本体の施工

## 本体の張り出しの施工

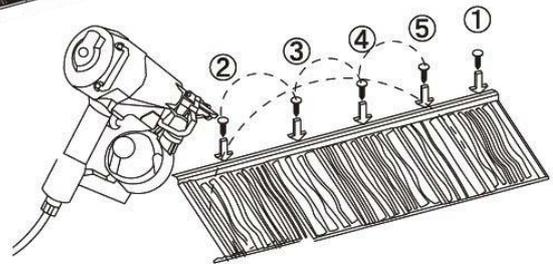
### フラットスターターの施工方法

#### 重要事項

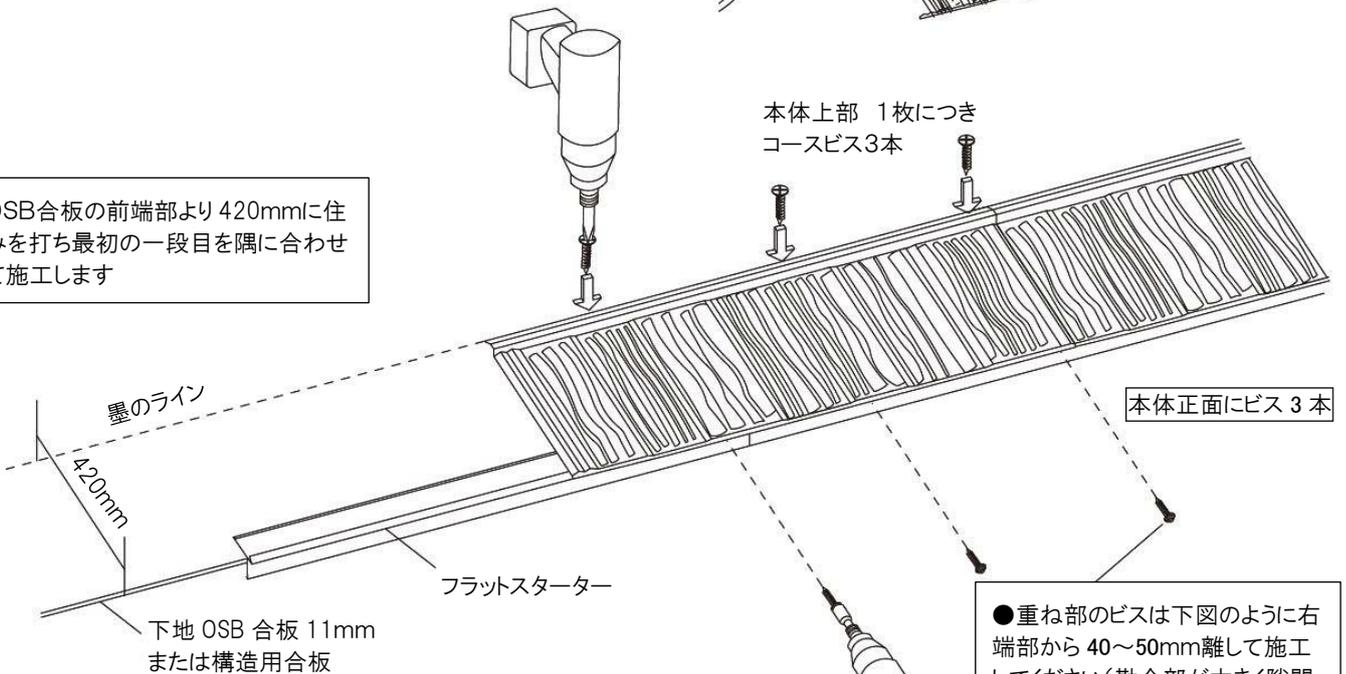
板金取り合い部の本体の隅切りケラバ捨板・谷板金・流用壁捨板と本体の取り合いは刺さった水が本体後部を走り雨漏れの原因にならないように板金の取り合い部の本体を右図のように必ず隅切り加工をしてください。



本体上部は専用釘 31mm以上の釘で施工もできます

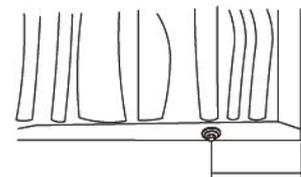
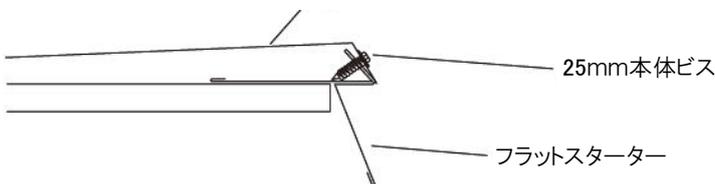


OSB合板の前端部より420mmに住みを打ち最初の一段目を隅に合わせて施工します



●本体とフラットスターターを 25mm本体ビスで  
しっかり留めつけてください

●重ね部のビスは下図のように右端部から 40~50mm離して施工してください(勘合部が大きく隙間が空くのを防止するため)



右端部から 40~50mm離して施工する

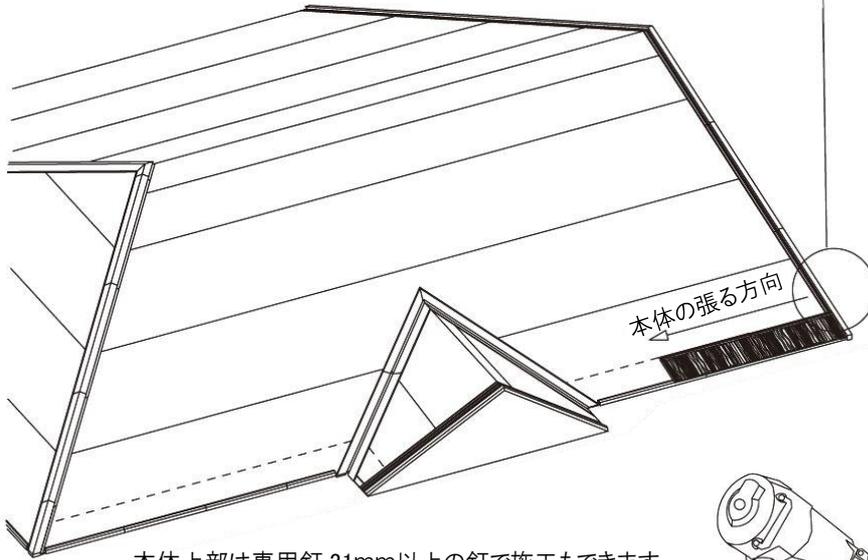
本体の張り出しの施工

通常の軒先水切での施工方法

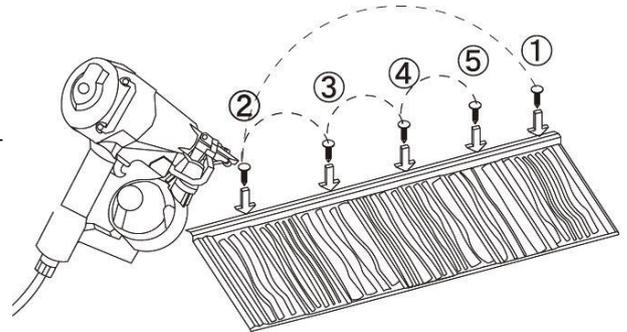
板金取り合い部の本体の隅切りケラバ捨板・谷板金・流用壁捨板と本体の取り合いは刺さった水が本体後部を走り雨漏れの原因にならないように板金の取り合い部の本体を右図のように必ず隅切り加工をしてください。



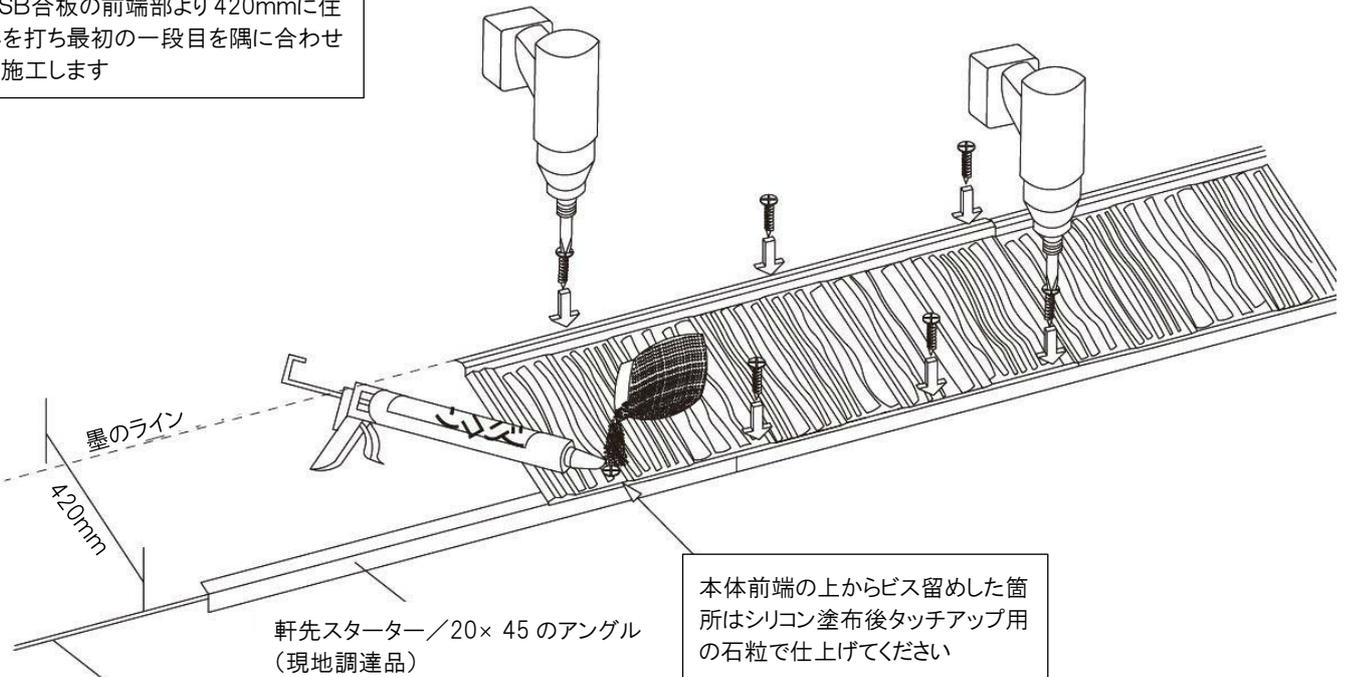
カットはすべての段 行うこと



本体上部は専用釘 31mm以上の釘で施工もできます



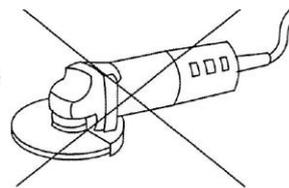
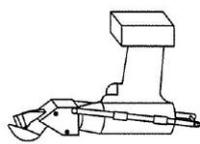
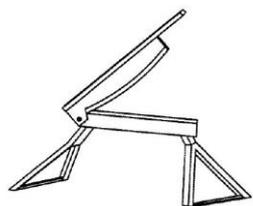
OSB合板の前端部より420mmに住みを打ち最初の一段目を隅に合わせ施工します



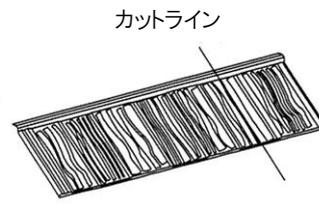
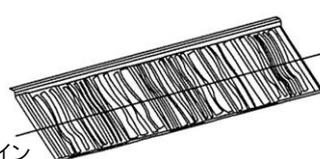
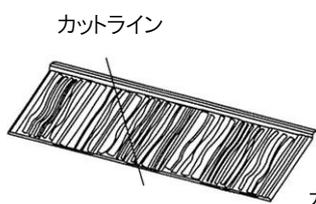
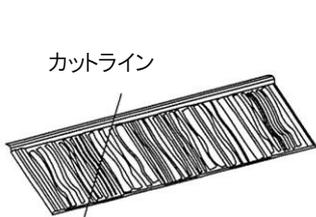
下地OSB合板 11mm  
または構造用合板



各箇所の切断は専用の切断機(ギロチン)で切断します。(縦・横・斜め 兼用です)  
 またはターボシアーHDを使って施工してください。



チップソーやディスクグラインダー  
 では切断しないでください。



**隅棟のカット④**  
 合わせる隅棟芯

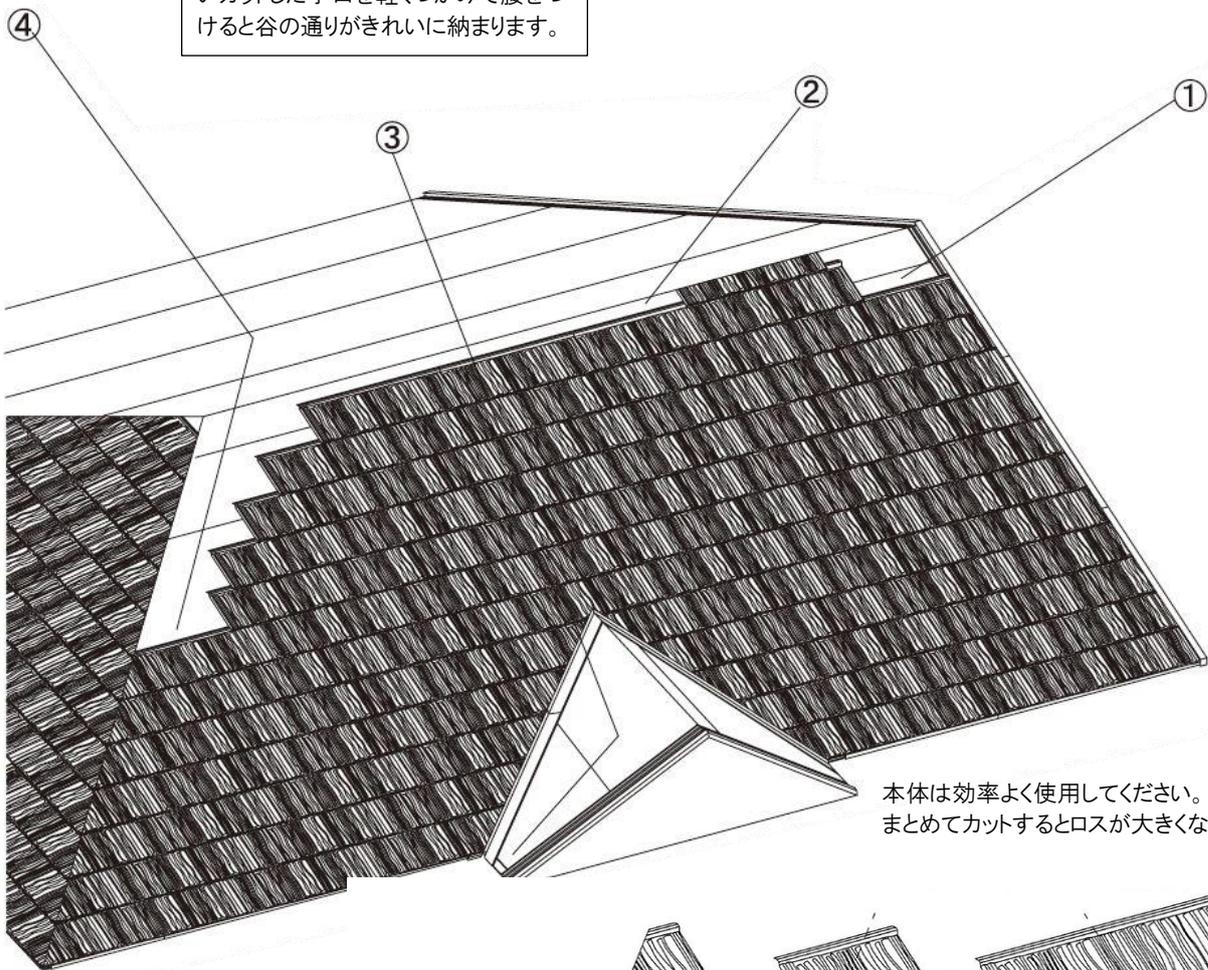
**谷のカット③**  
 本谷中央部の立ち上がりの  
 根元に合わせる

**棟残寸法部のカット②**  
 棟の下地の上端に合わせる

**ケラバ部のカット①**  
 ケラバ捨板の内面に突きつ  
 けで合わせる



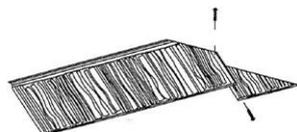
いカットした小口を軽くつかみで腰をつ  
 けると谷の通りがきれいに納まります。



本体は効率よく使用してください。あとで  
 まとめてカットするとロスが大きくなります。

② ①の残材で次の段の隅棟のケガキ

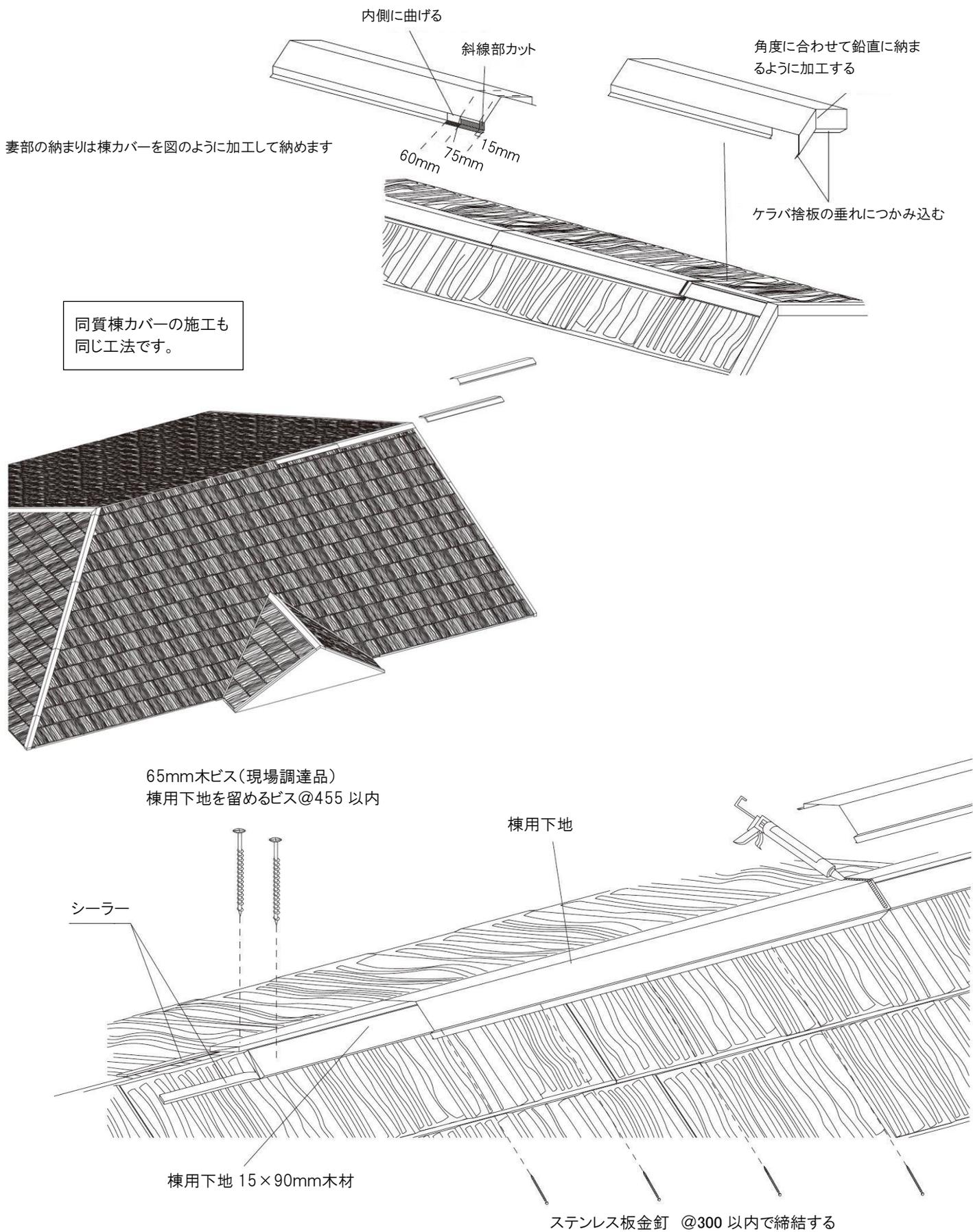
①ケラバのカット



上図のような小さい本体が入る場合は正面と上部に 4×16 のビスで大きい本体にあらかじめ結合させてから施工してください。

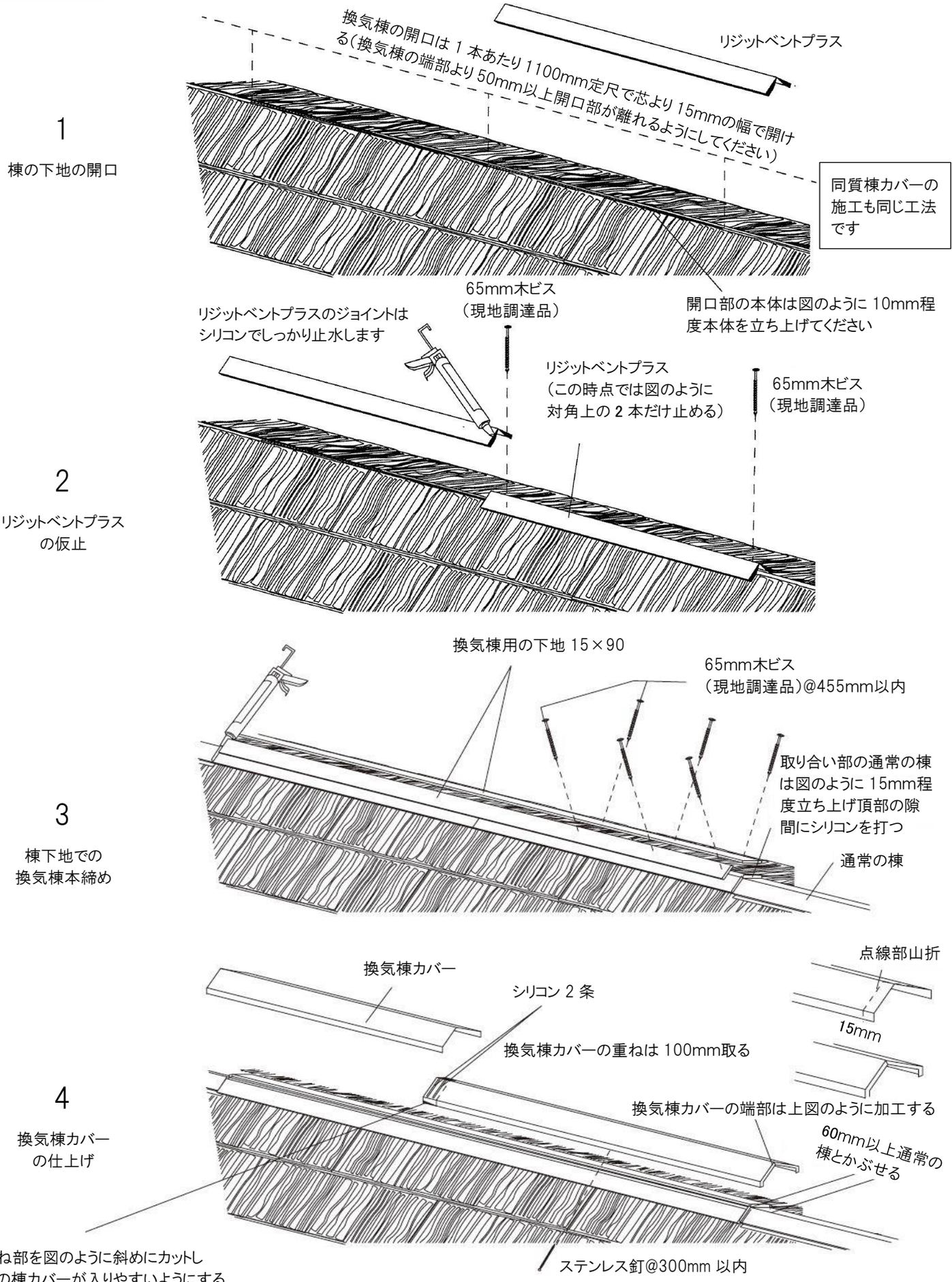
## ⑧ 各部板金役物の施工

GL鋼板 棟の仕上げ



# ⑨ 棟(換気棟)の仕上がり

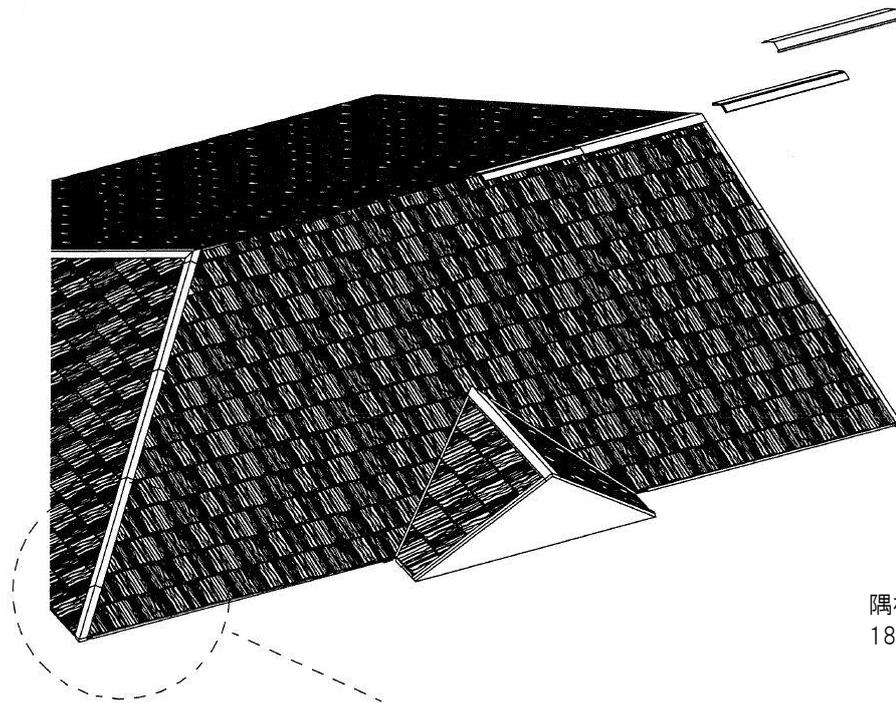
GL鋼板仕様



重ね部を図のように斜めにカットし次の棟カバーが入りやすいようにする

# 10 各部板金役物の施工

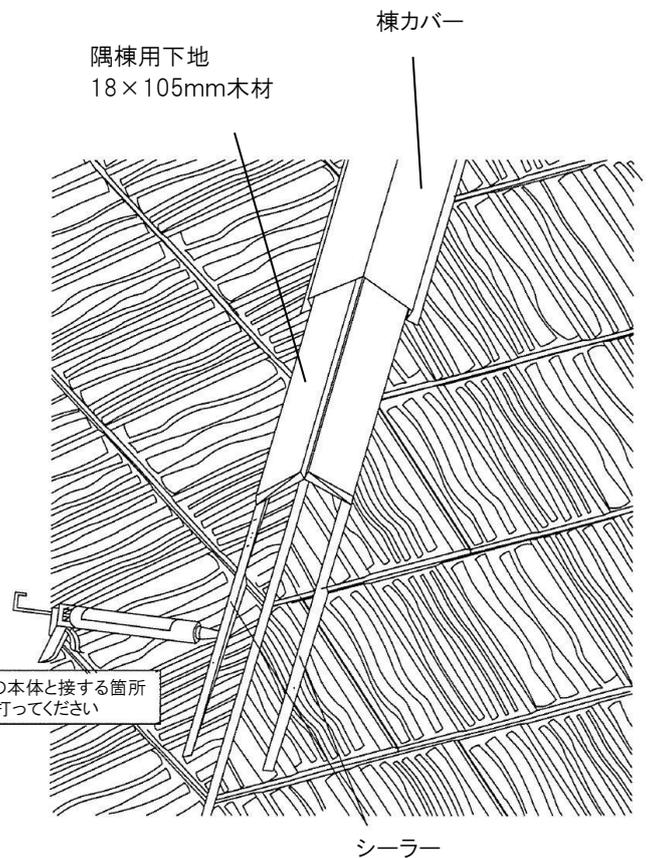
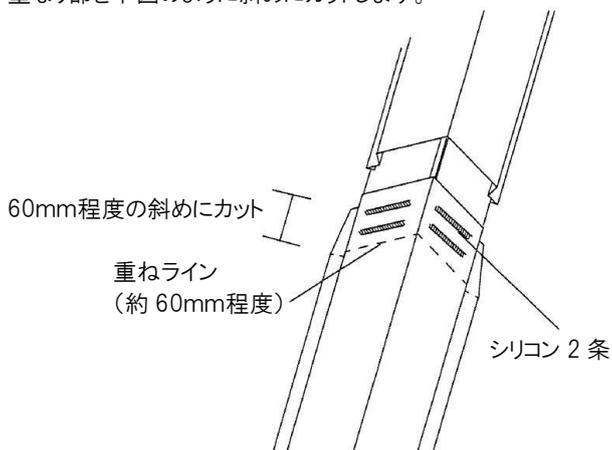
GL鋼板 隅棟の仕上がり



同質棟カバーの施工も同じ工法です。

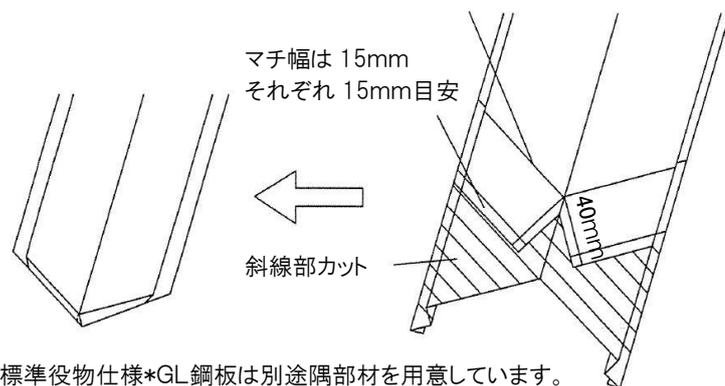
●隅棟の納まり

●棟カバーのジョイント  
通し棟のジョイントは約 60mmで重ね、下にシリコンを打ち、通し棟同士が重なりやすいように重なり部を下図のように斜めにカットします。

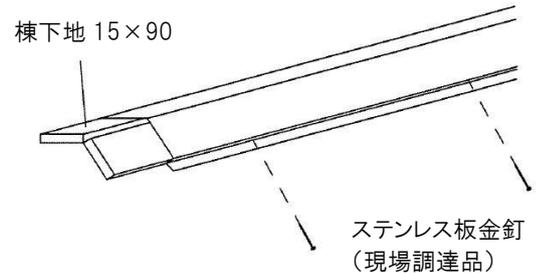


シーラーの下場の本体と接する箇所はシリコンを必ず打ってください

●隅棟端部の加工



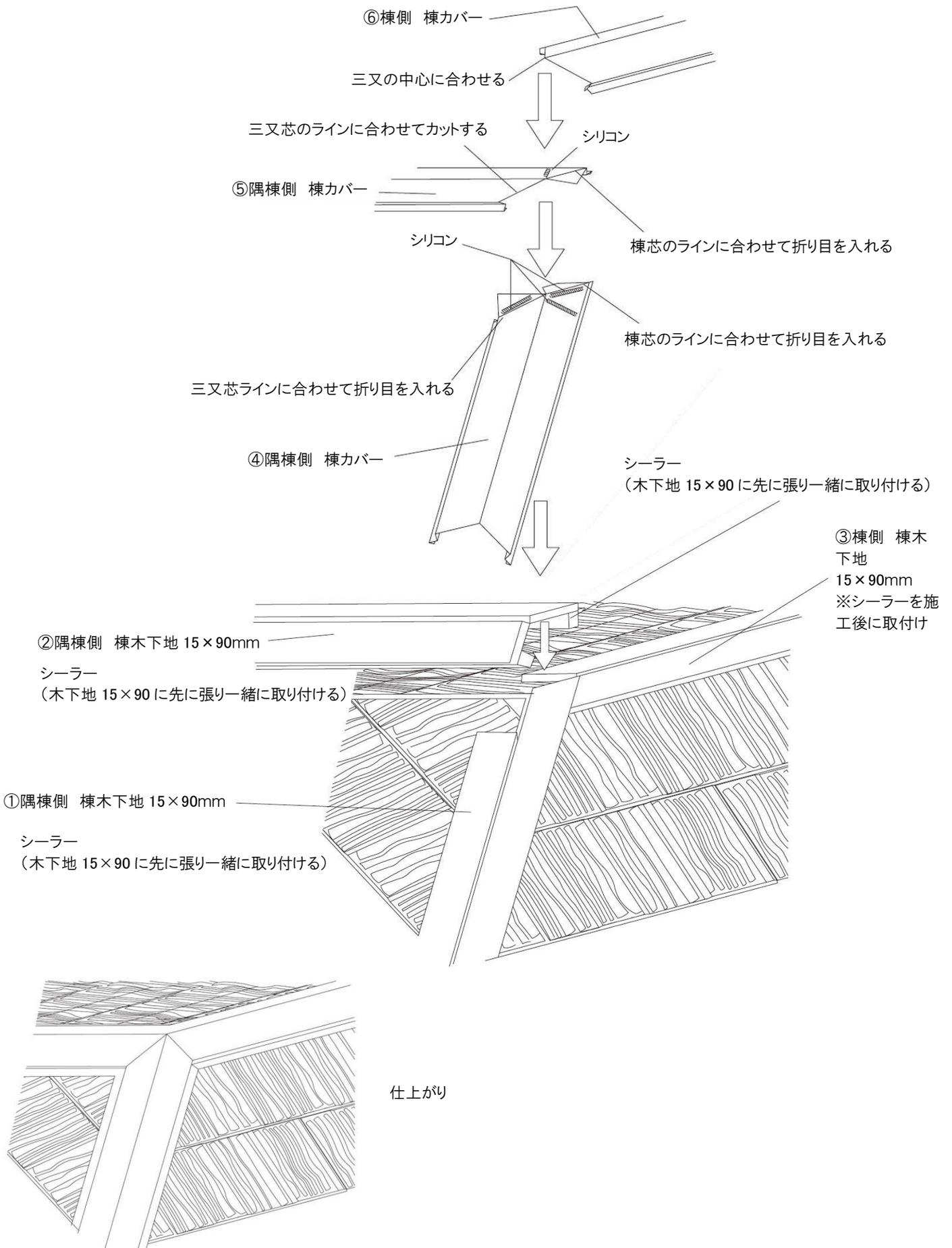
●棟カバーの釘留め



標準役物仕様\*GL鋼板は別途隅部材を用意しています。

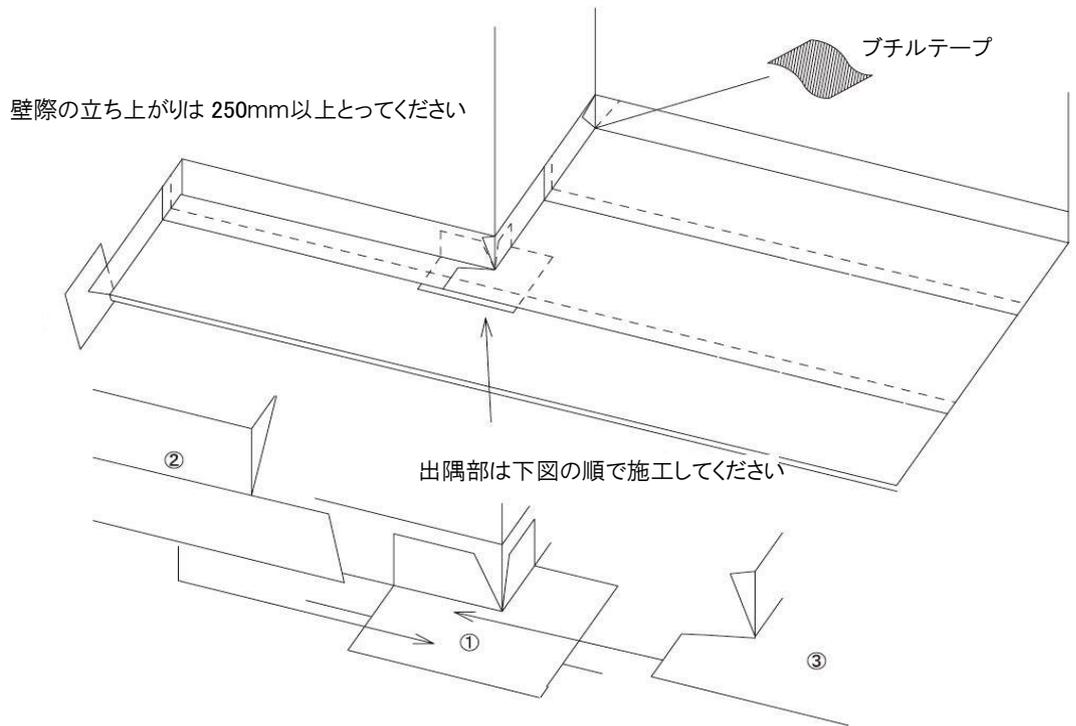
ステンレス板金釘で棟下地に効かせてください。@300mm

# 11 隅棟の仕上がり

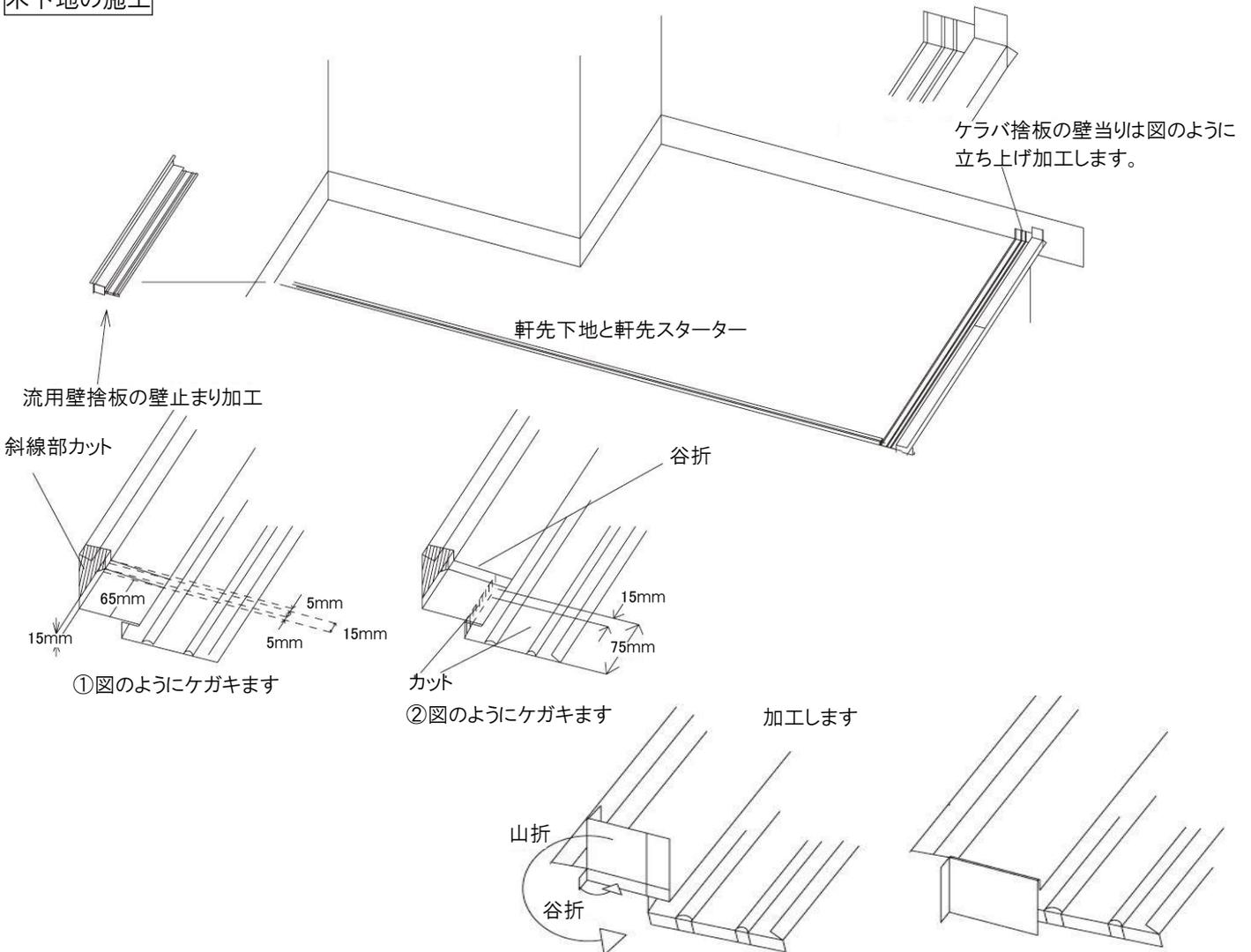


# 12 壁際の施工 1

## 下地防水紙の施工



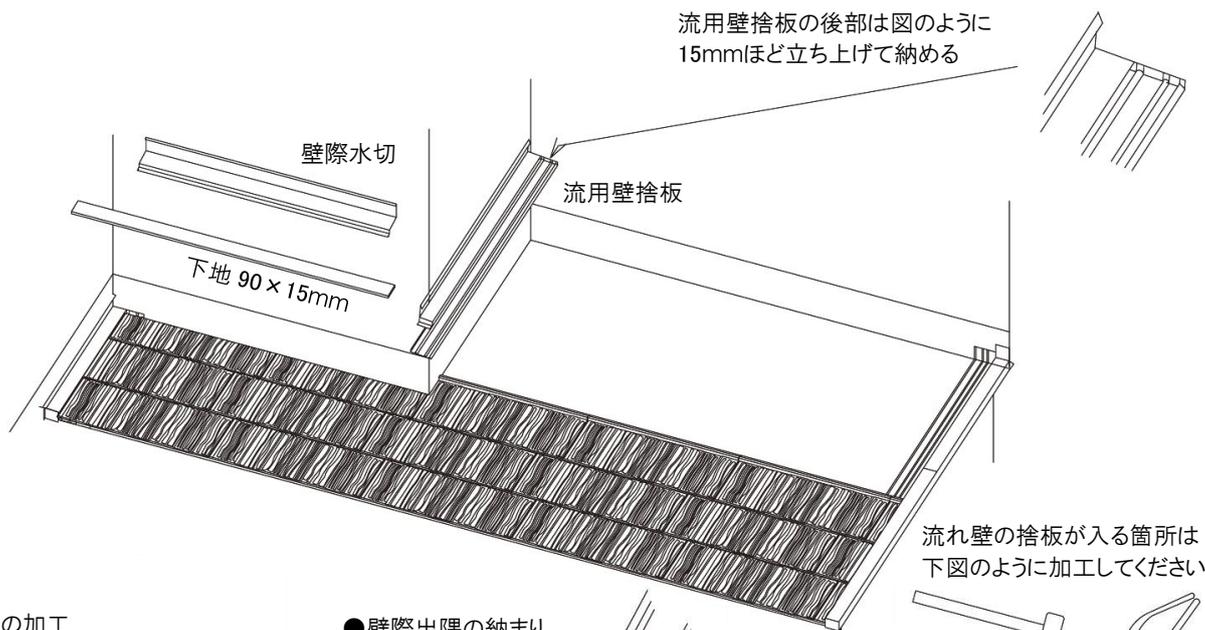
## 木下地の施工



# 13 壁際の施工 2

## 捨板と出隅・バックアップ材の施工

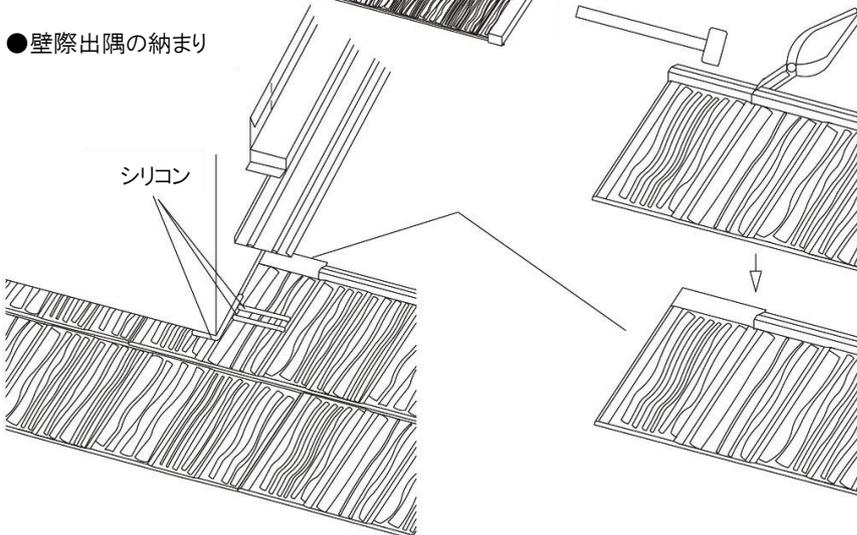
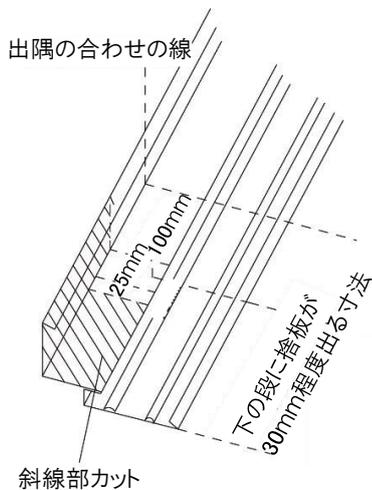
流用壁捨板の後部は図のように  
15mmほど立ち上げて納める



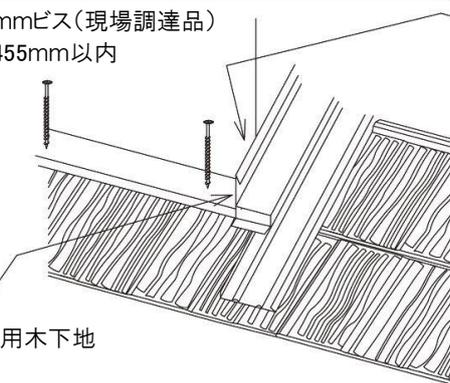
流れ壁の捨板が入る箇所は  
下図のように加工してください

### ● 流れ用捨板の加工

### ● 壁際出隅の納まり

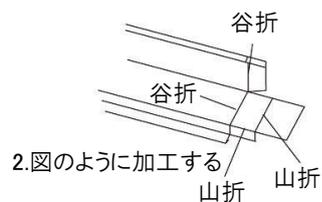


65mmビス(現場調達品)  
@455mm以内

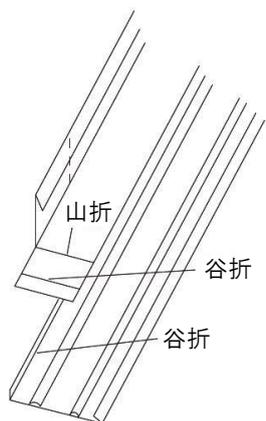


1.図のようにケガク

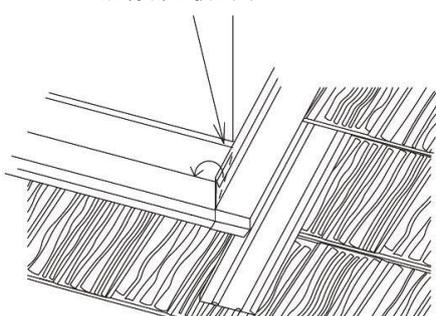
60mm  
120mm



2.図のように加工する



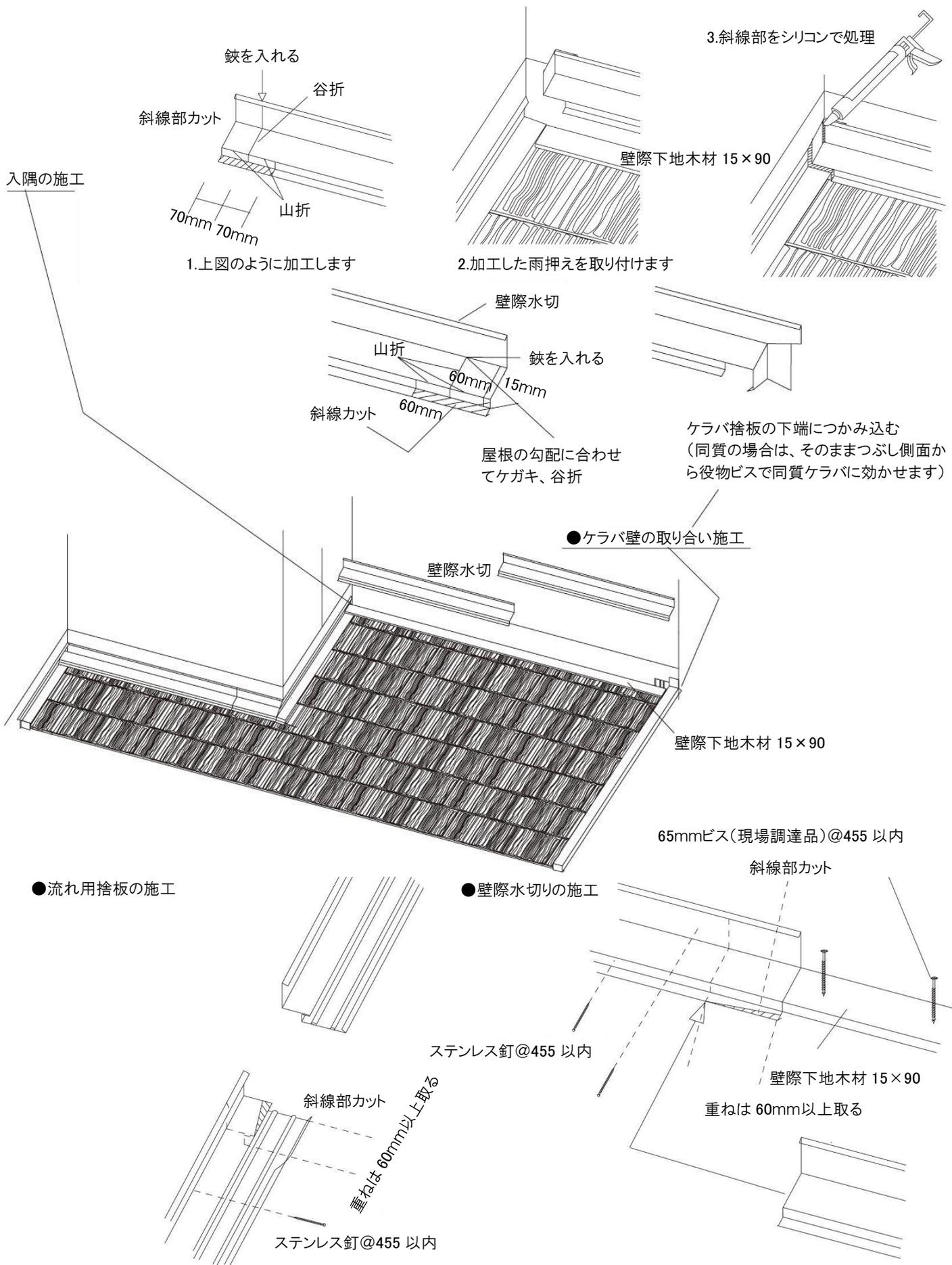
点線部を折り曲げ



壁際水切り



# 14 壁際の仕上げ



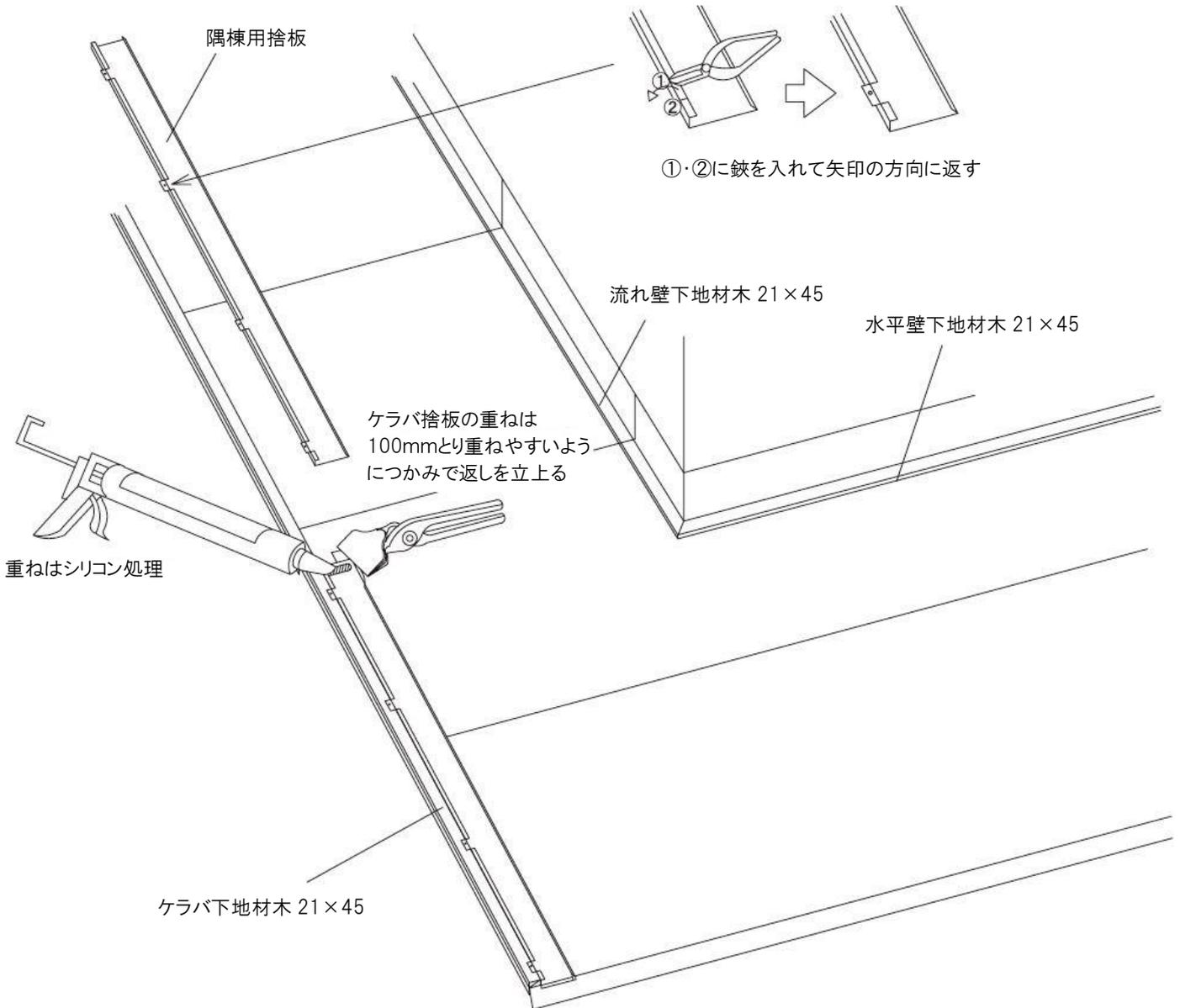
## 15 同質ケラバと雨押えの施工

同質ケラバ・同質雨押えは、以下の手順で施工してください。

### 隅棟用捨板のケラバ部の施工

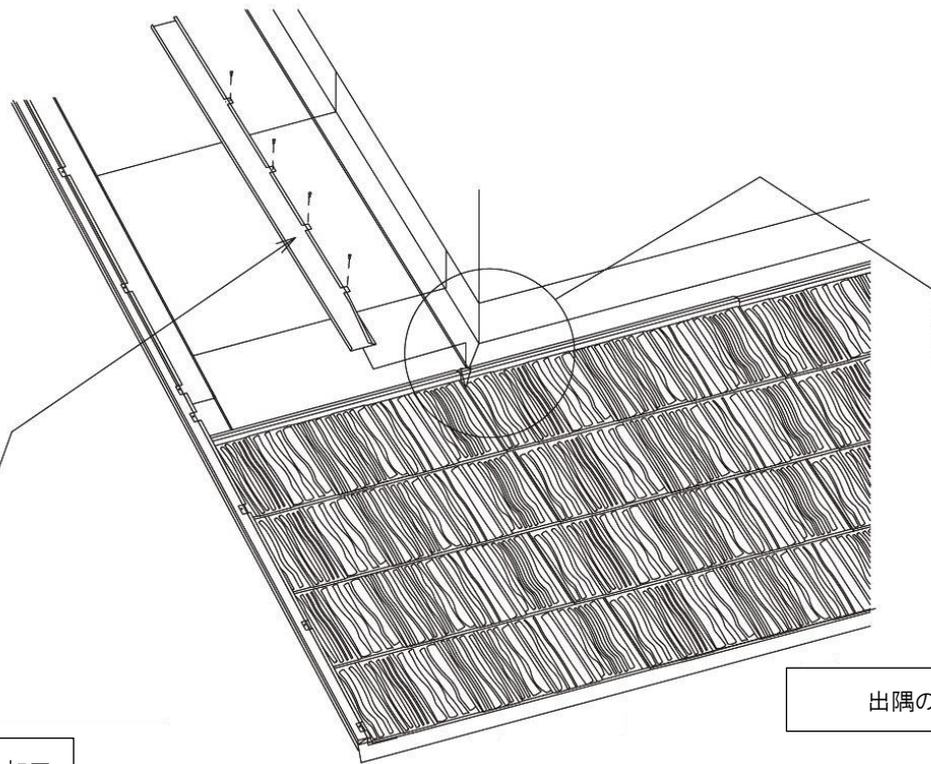
隅棟用捨板は現地調達で  
段捨板でも兼用可能です。

#### ●隅棟用捨板のケラバ下地への取り付け加工



ケラバ・壁際に木下地を施工します

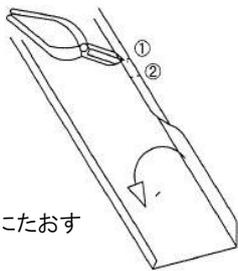
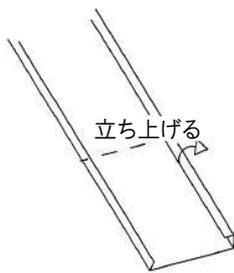
出隅部捨板と本体施工



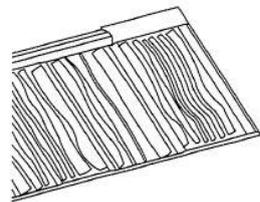
出隅部の壁際の隅棟用捨板の加工

出隅の納まり

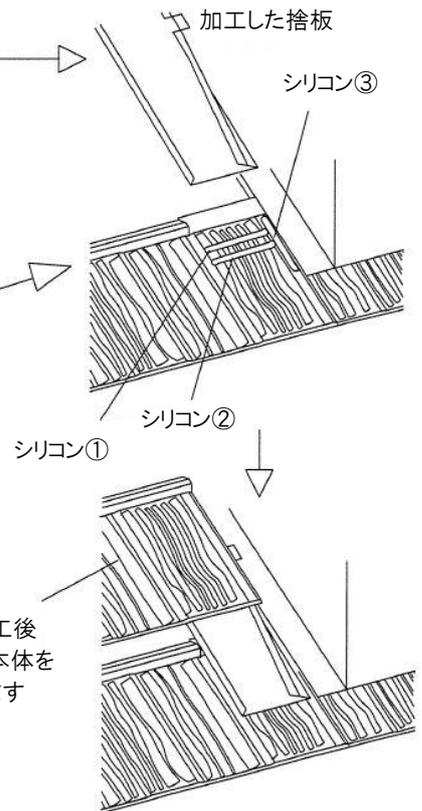
流れ壁の捨板が入る箇所は  
下図のように加工してください



捨板の幅に鋏で切りこみを入れる



捨板施工後  
上段の本体を  
施工します

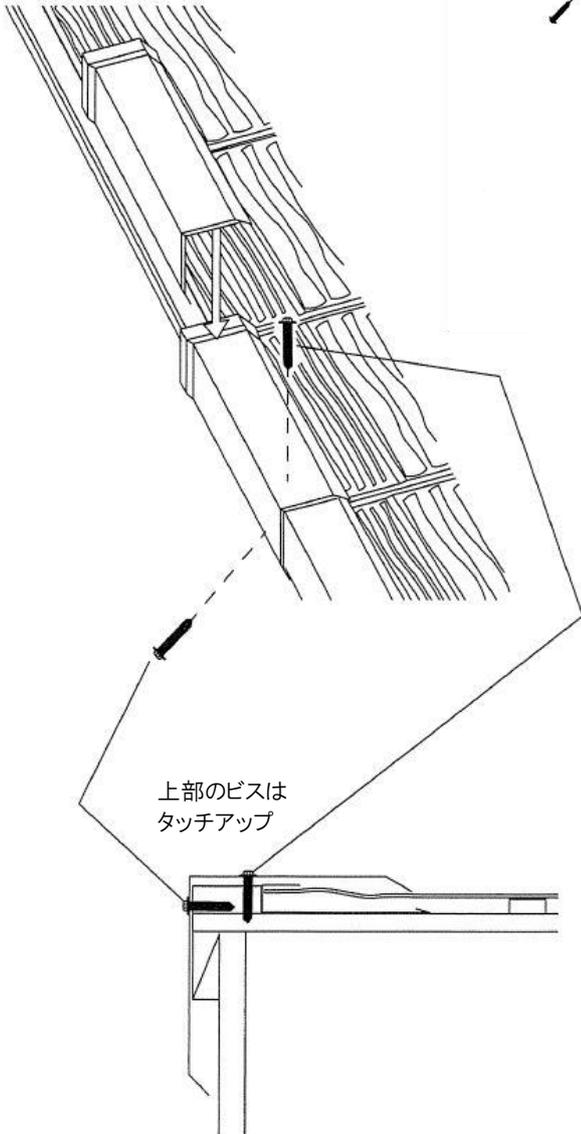


同質ケラバ(トリム)の施工

木下地ビス 38mm以上(コーススレッド)  
タッチアップキットで仕上げる

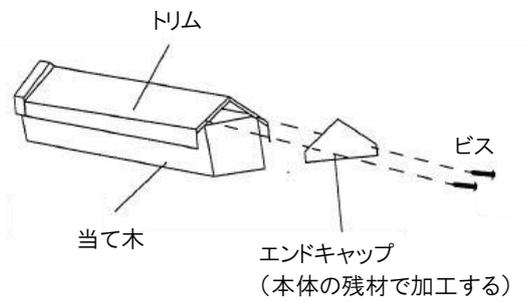
本体ビス 25mm

●ケラバの納まり  
トリムに専用ビスで上面と側面より各1本ずつ下地木材に留めつけ、上面のビスにはシリコン後補修石粒でタッチアップしてください。



●トリムの角の納まり  
(ケラバ・隅棟 角)

トリムの角(軒先側)の端部は以下のように加工します

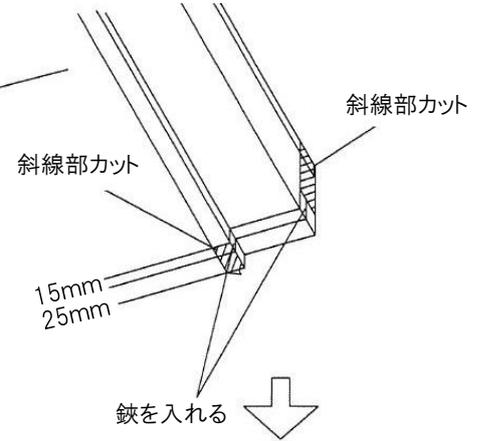


壁際水切りの施工

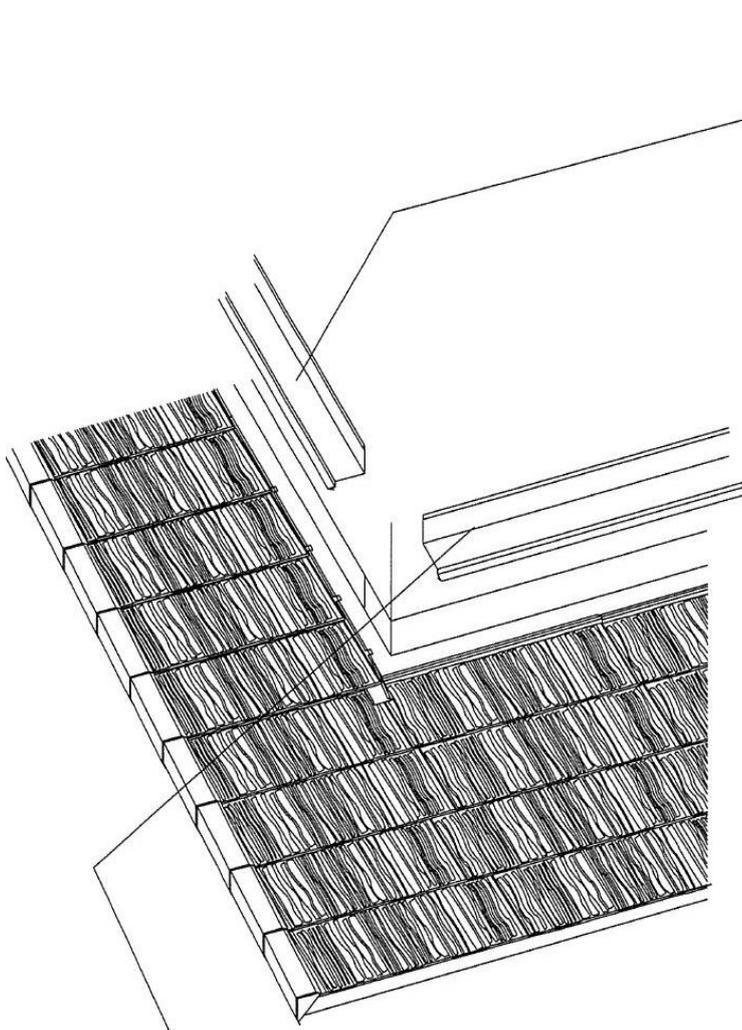
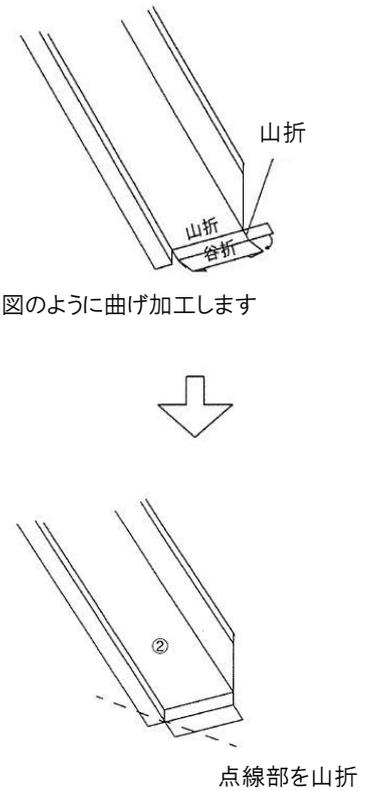
平板スレート重葺き

壁際水切り出隅の施工(流れ方向)

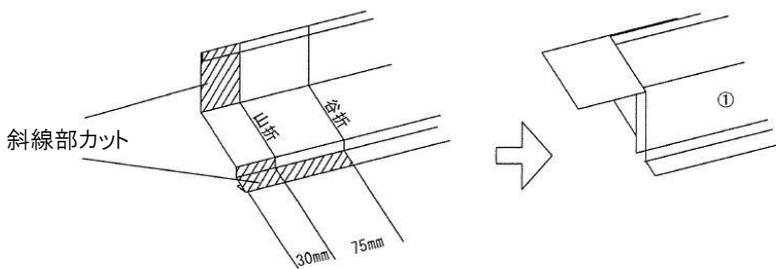
1.壁際水切りを図のように加工します



2.図のように曲げ加工します

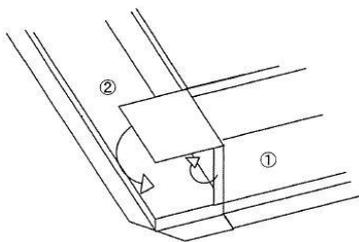


壁際水切り出隅の加工(水上方向)

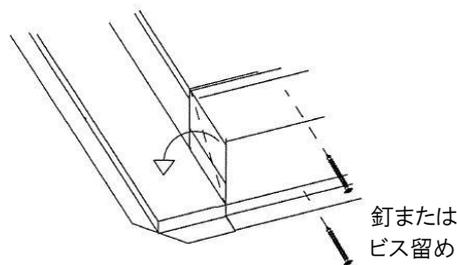


1.壁際水切りを図のように加工します

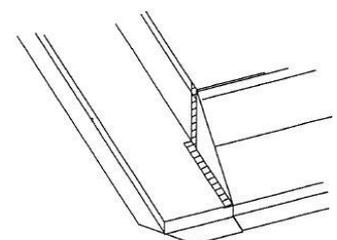
壁際水切り出隅の仕上げ



1.図のように曲げ加工します



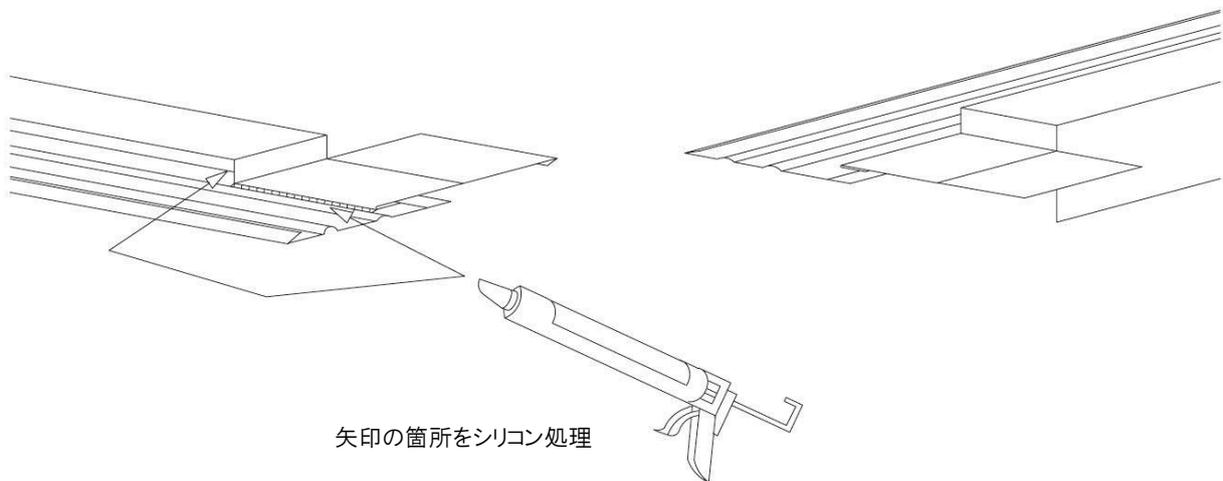
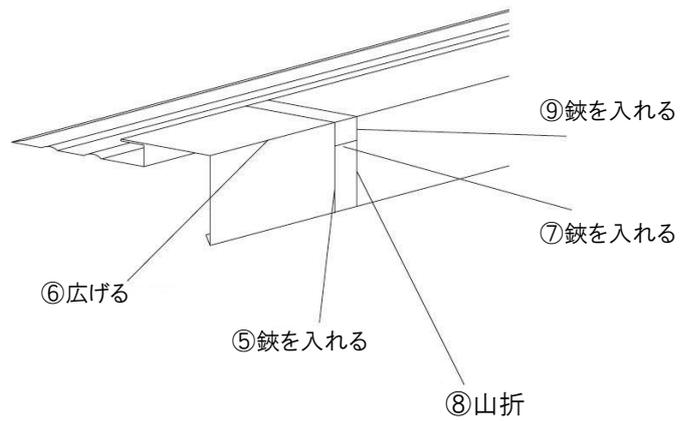
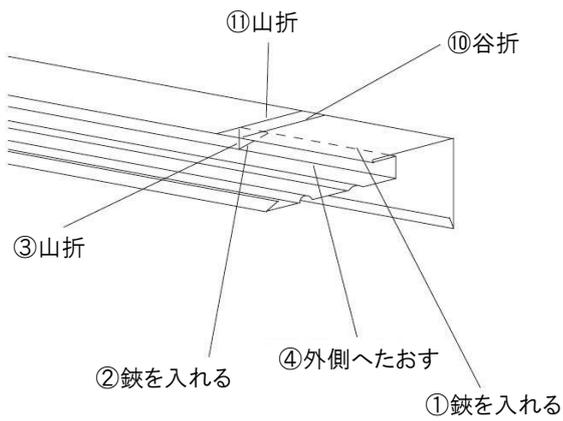
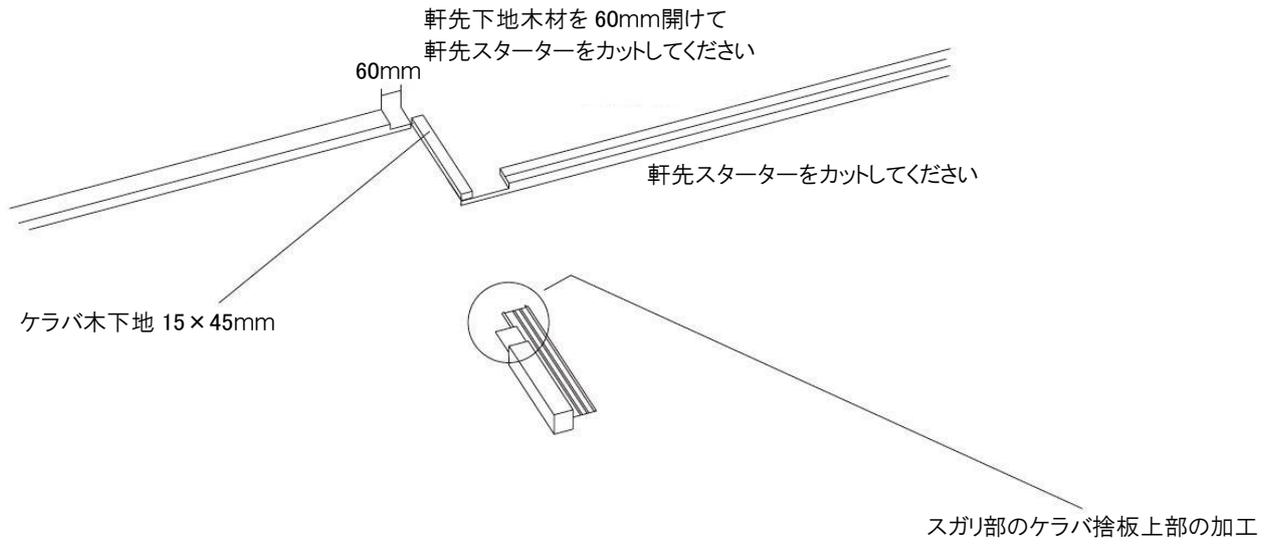
2.点線部を矢印の方向に折ります

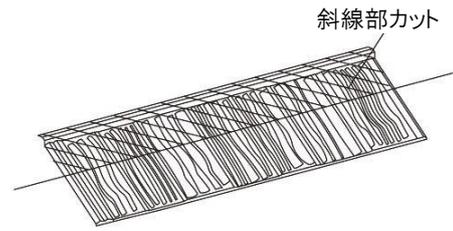


3.斜線部をシリコン処理

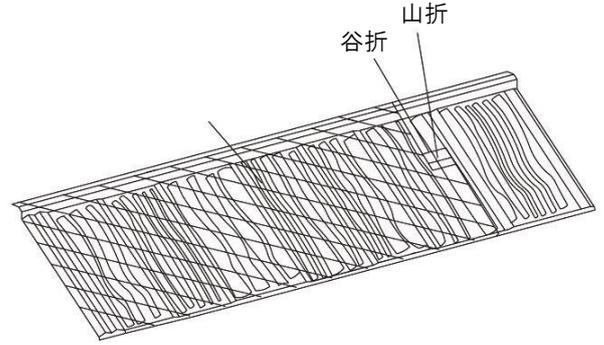
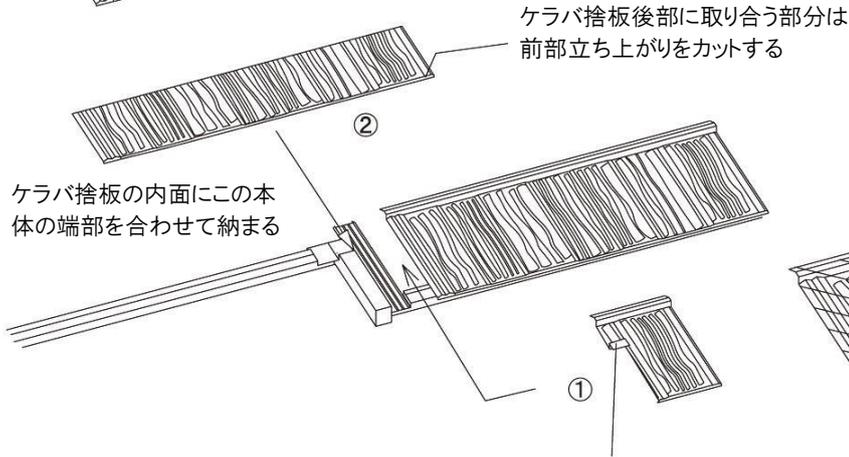
# 16 スガリ部の施工

1. 下図のように加工したケラバ捨板を施工する



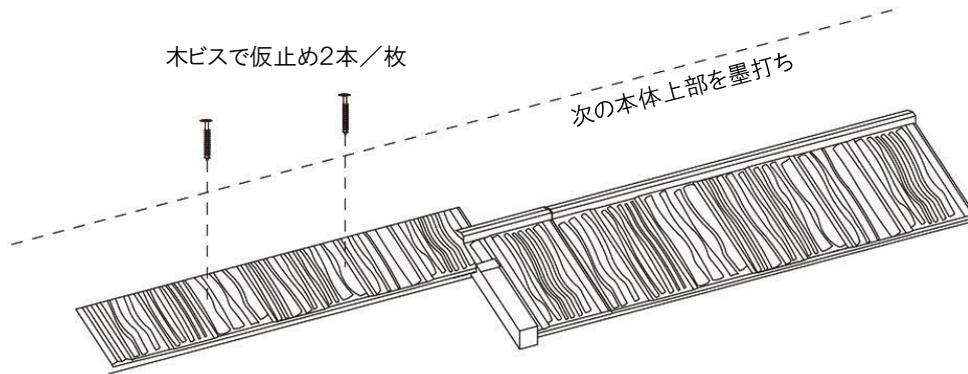


2. ①・②の順に施工します

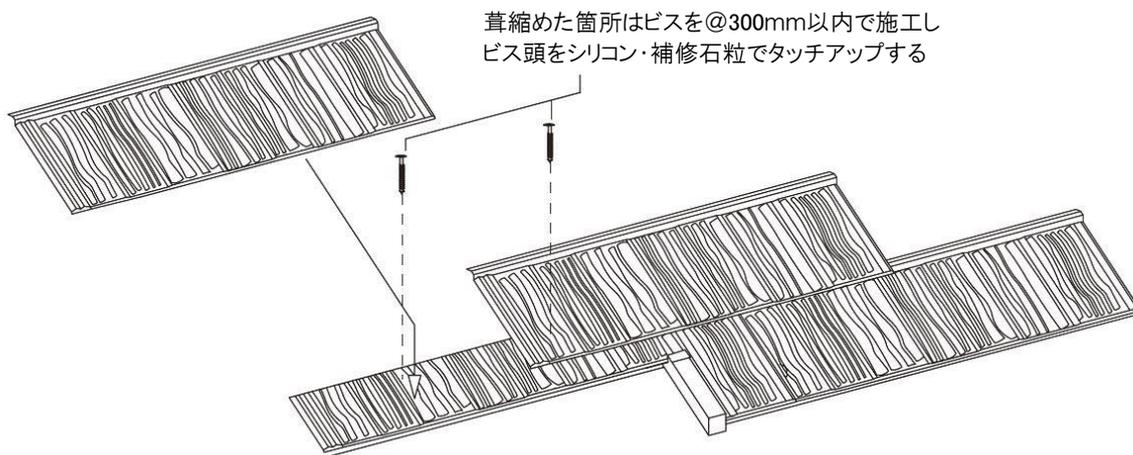


ケラバ捨板後部に取り合う部分はケラバ捨板の上に乗せます

3. 図の箇所を墨打ちし、本体は図のように、軒先の出に合わせてケガキ織城を残してカットし納める

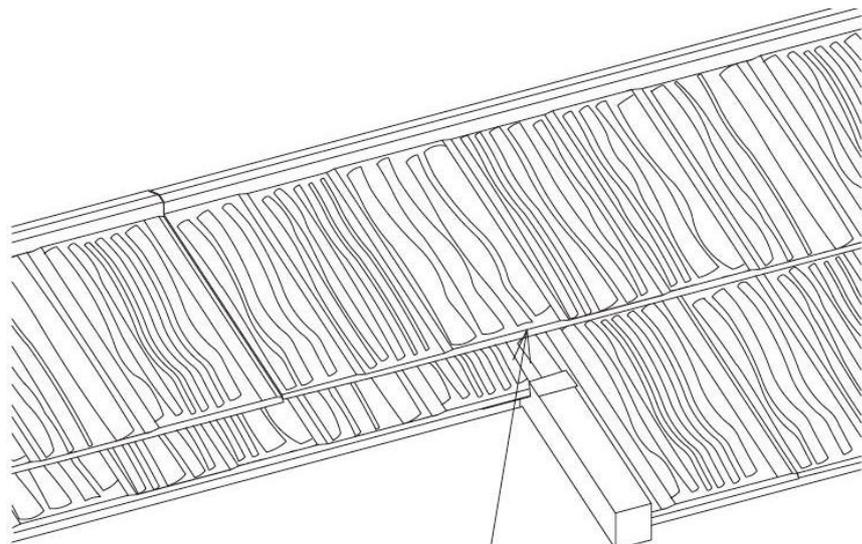


4. 墨打ちしたラインに本体を合わせ、横の通りがずれないように注意して施工してください



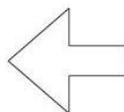
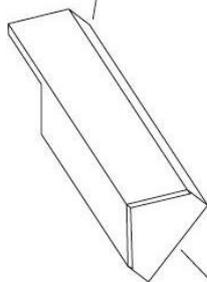
## 17 スガリ部の施工(同質ケラバの場合)

同質ケラバの施工は下の図のようにカットし、スガリ1段上の段に納まるように加工し納めます



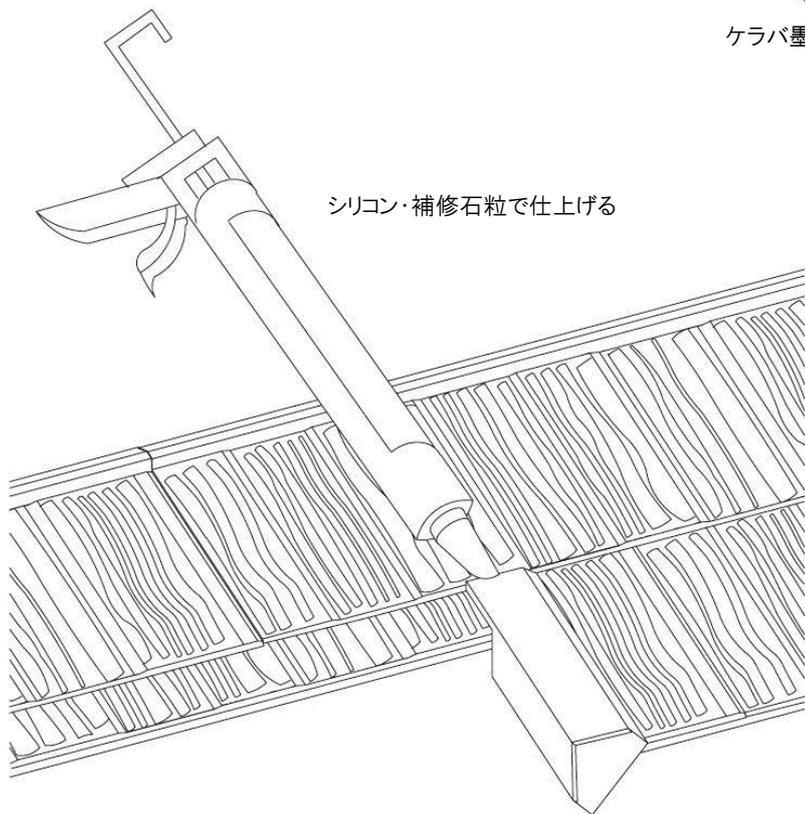
スガリの取り合いに合わせてケガキ、カット

斜線部カット



ケラバ墨加工(P25 参照)

シリコン・補修石粒で仕上げる

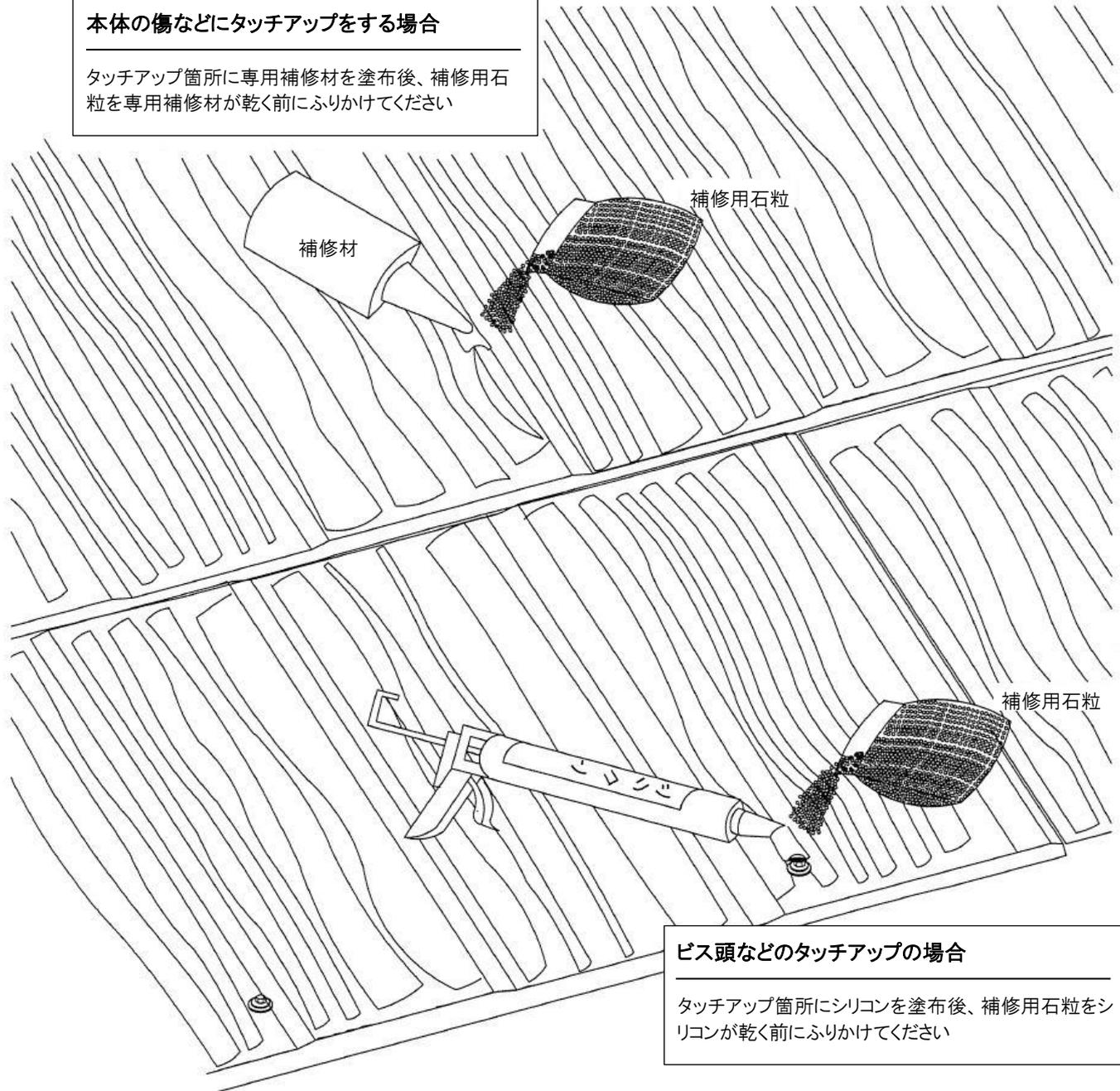


## 18 仕上げのタッチアップ

タッチアップは施工中や施工後に発生した傷で、本体の石粒が取れてしまっている場合と、施工時に本体上部からビス留めした箇所に施す場合と2つの場合があります。

### 本体の傷などにタッチアップをする場合

タッチアップ箇所に専用補修材を塗布後、補修用石粒を専用補修材が乾く前にふりかけてください



### ビス頭などのタッチアップの場合

タッチアップ箇所にシリコンを塗布後、補修用石粒をシリコンが乾く前にふりかけてください

タッチアップ施工後や、一部本体から石のツキムラ（製造時の余分な石粒）が施工後半年前後雨樋の中やカーポートの屋根などに落ちてくる場合がございますが、製品の性能上には問題ありません。

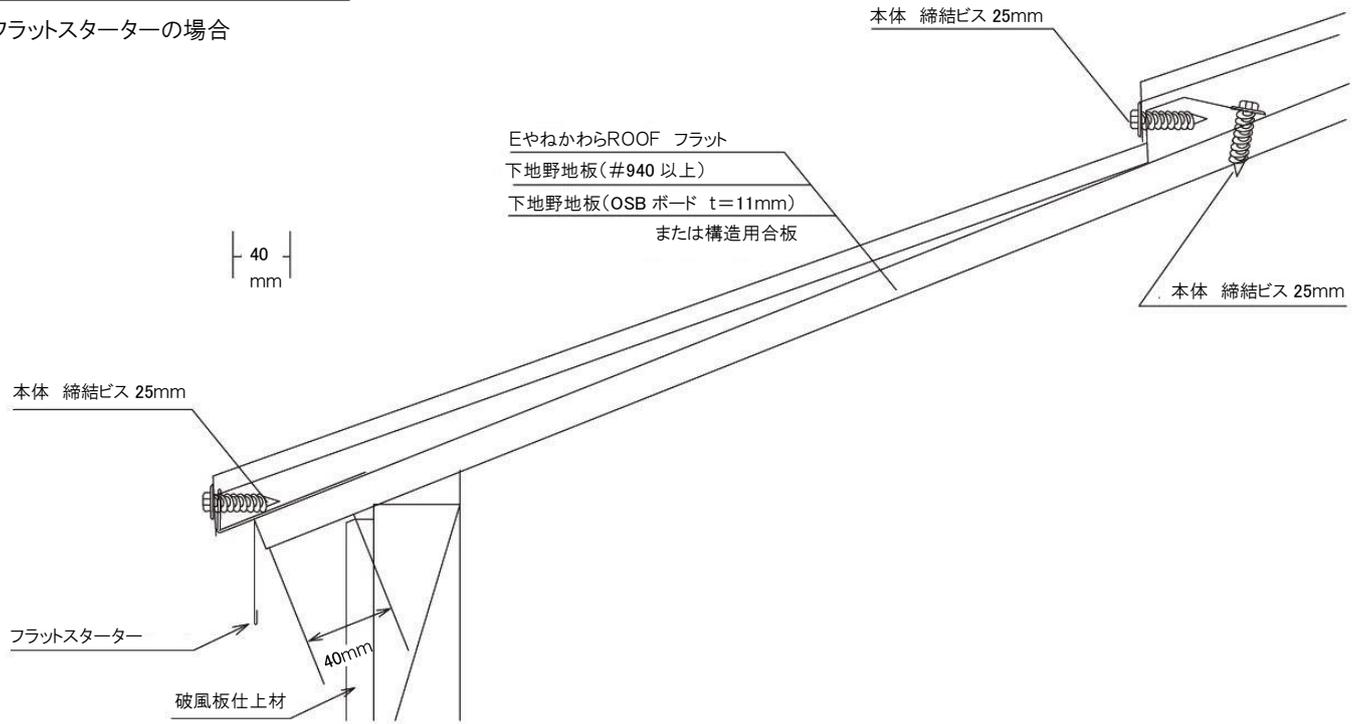
またこれが原因で雨樋を詰まらせたりすることもございません。

製品の製造工程上必要な現象の為、あらかじめご了承ください。

# 19 各部の納まり

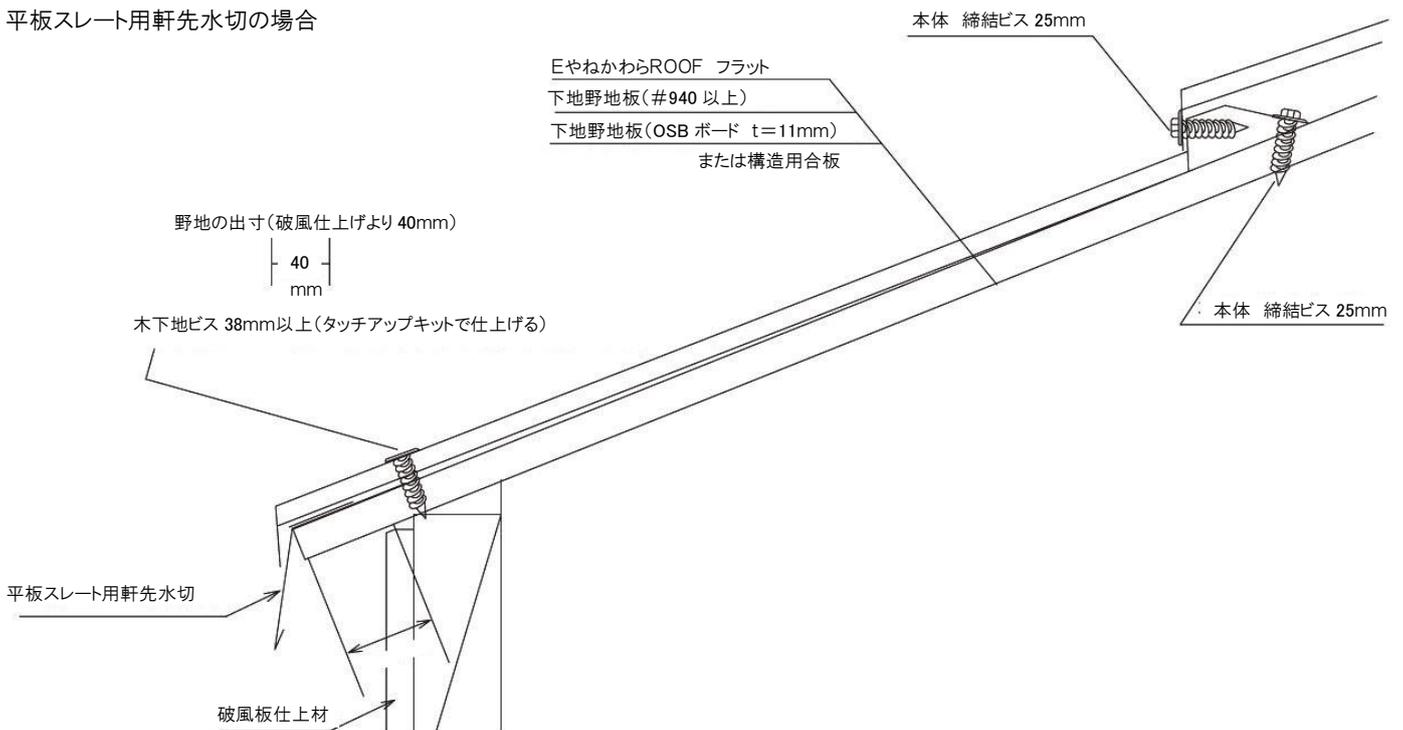
## 軒先の納まり

フラットスターターの場合

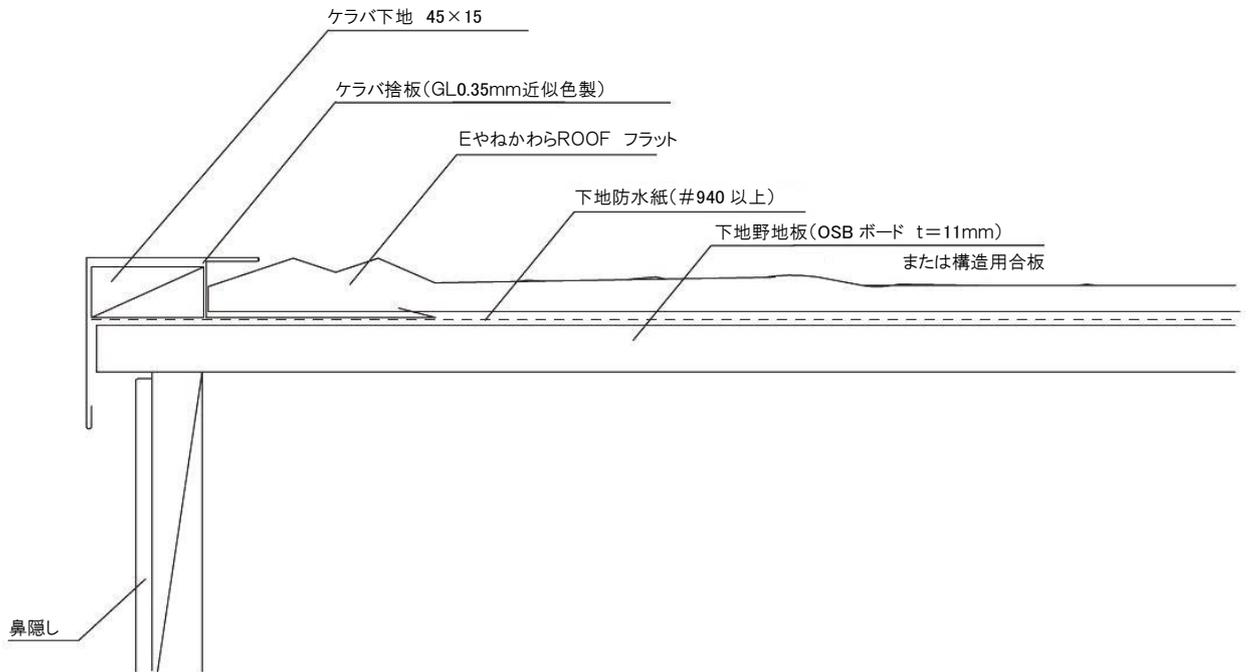


## 軒先の納まり

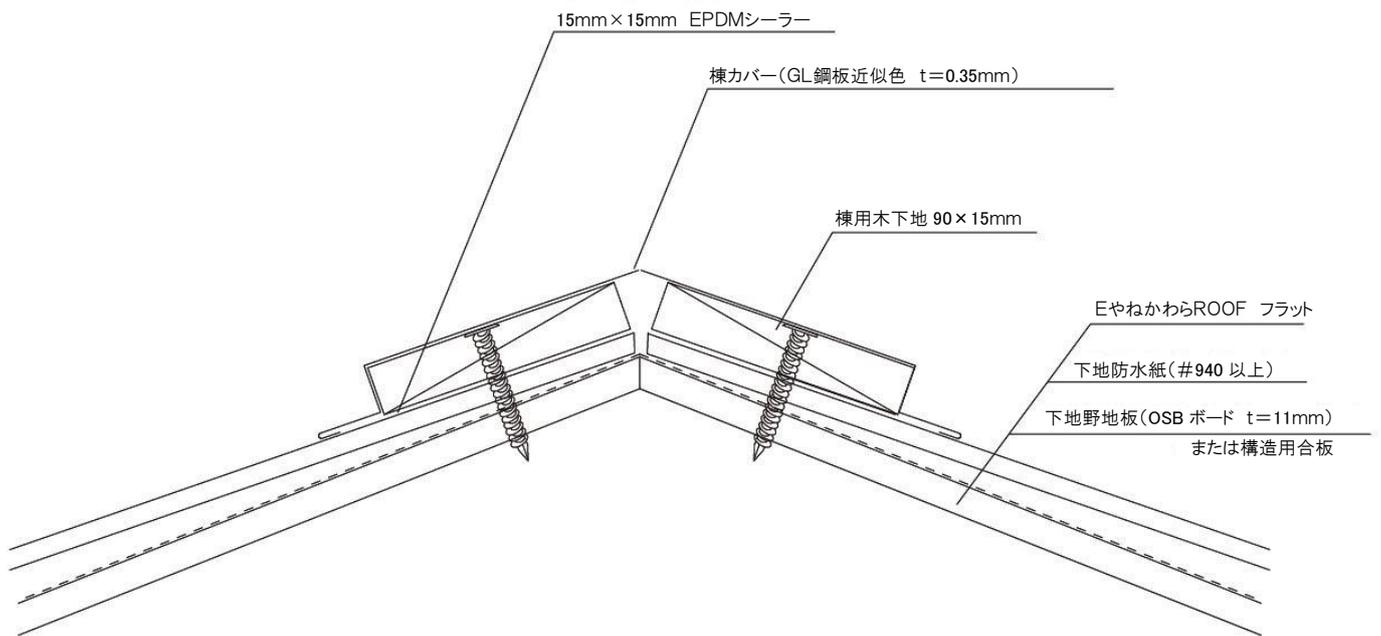
平板スレート用軒先水切の場合



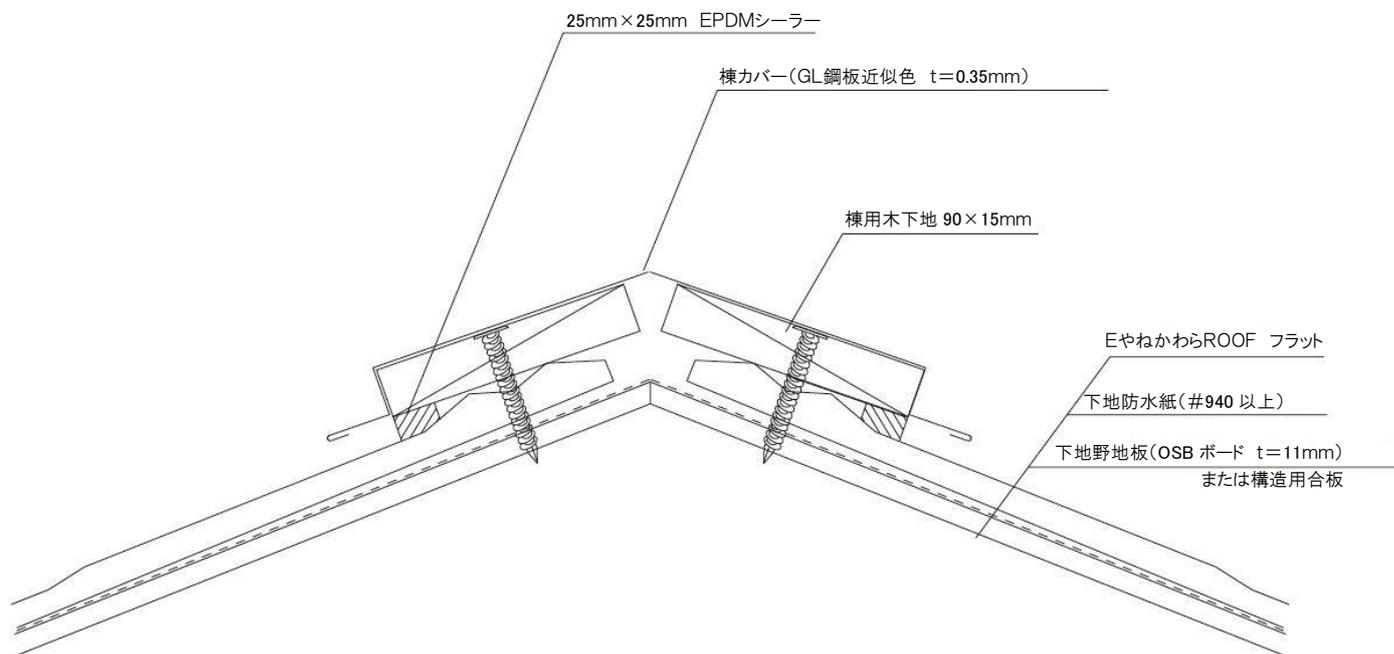
## ケラバの納まり



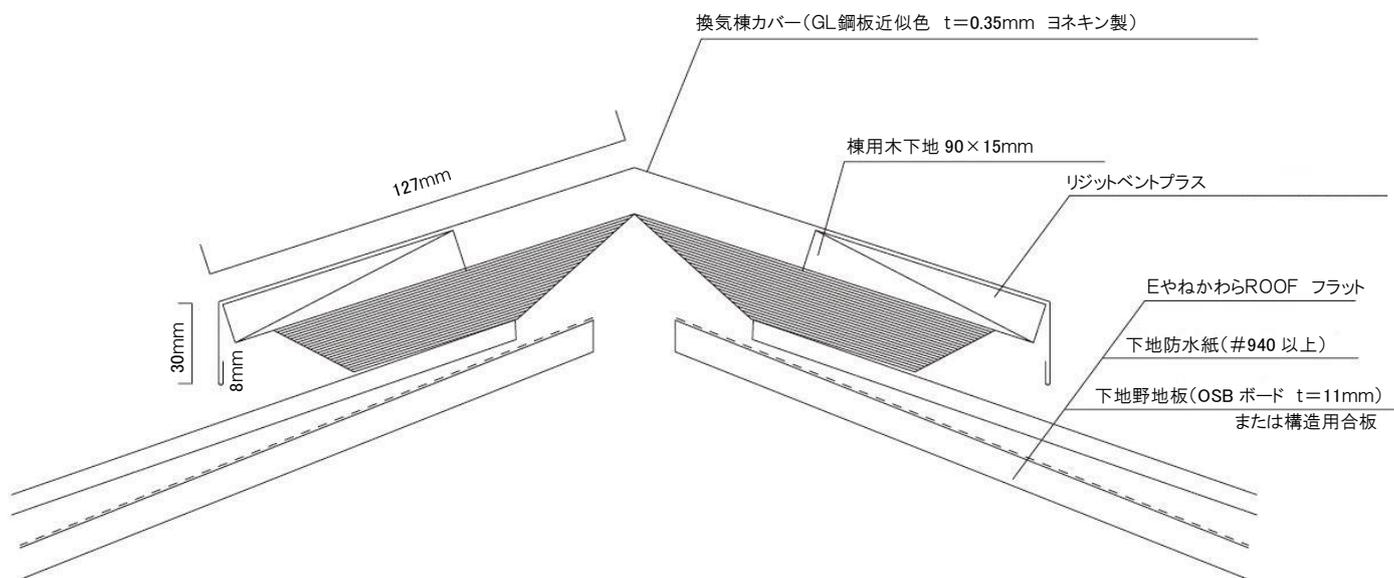
## 棟の納まり



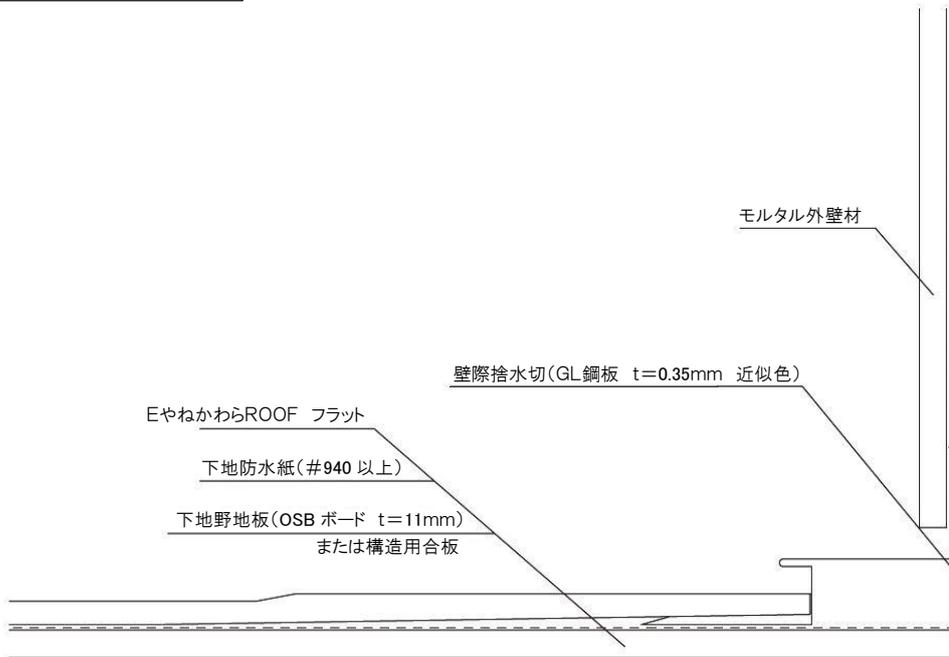
## 隅棟の納まり



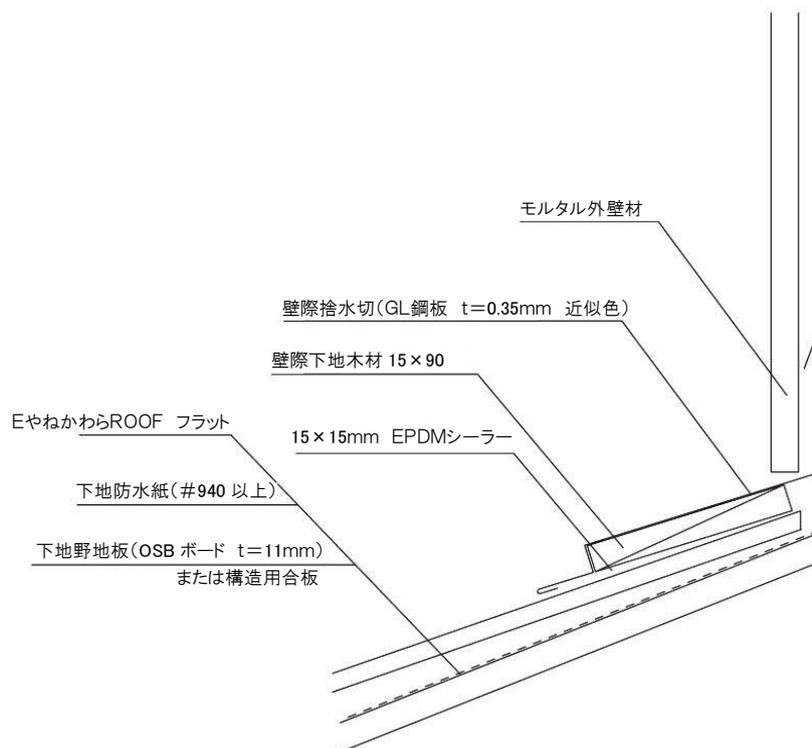
## 換気棟の納まり



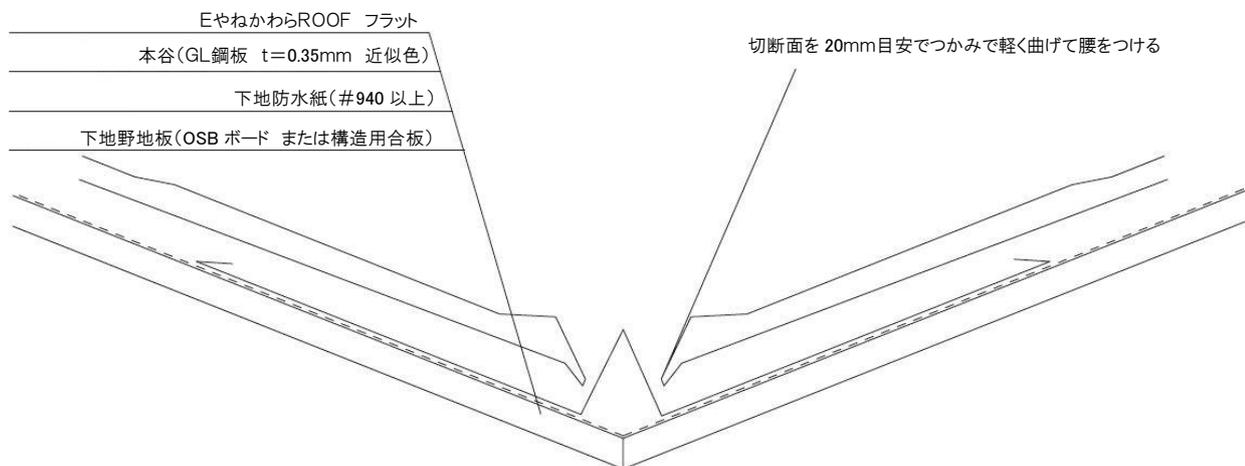
## 壁際(流れ)部の納まり



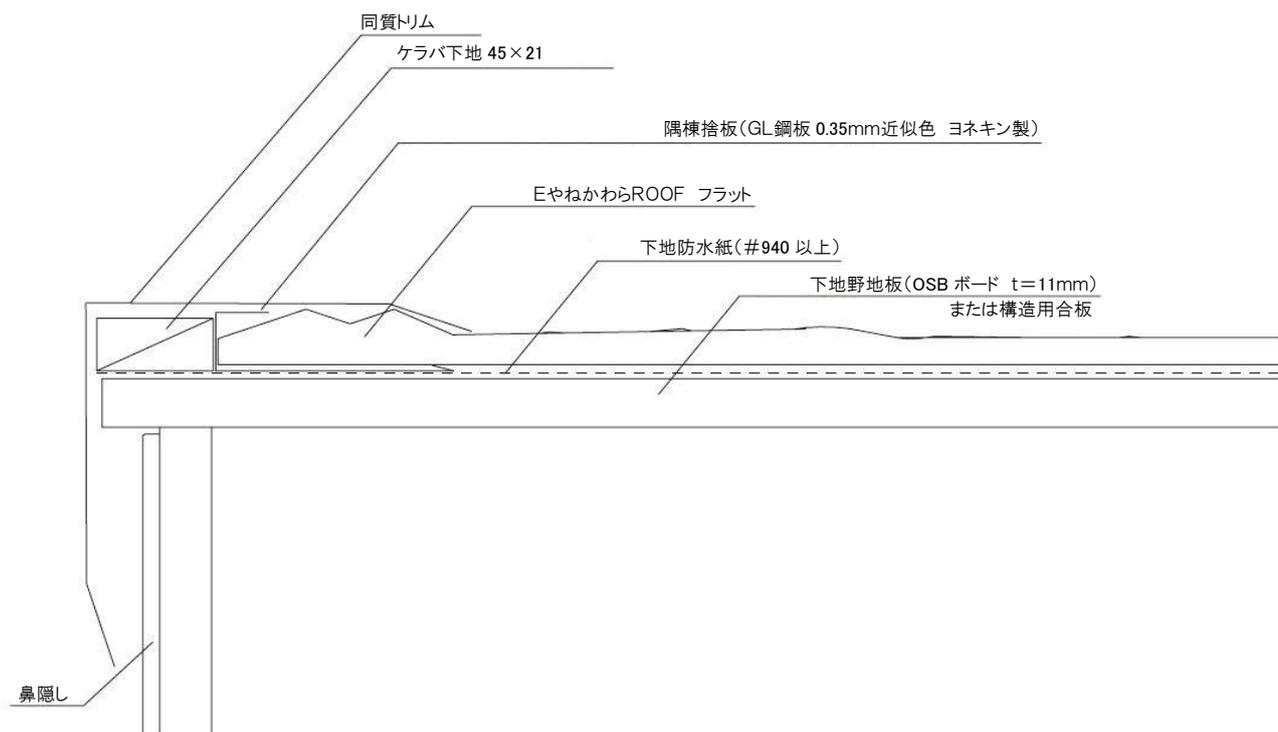
## 壁際(桁側)の納まり



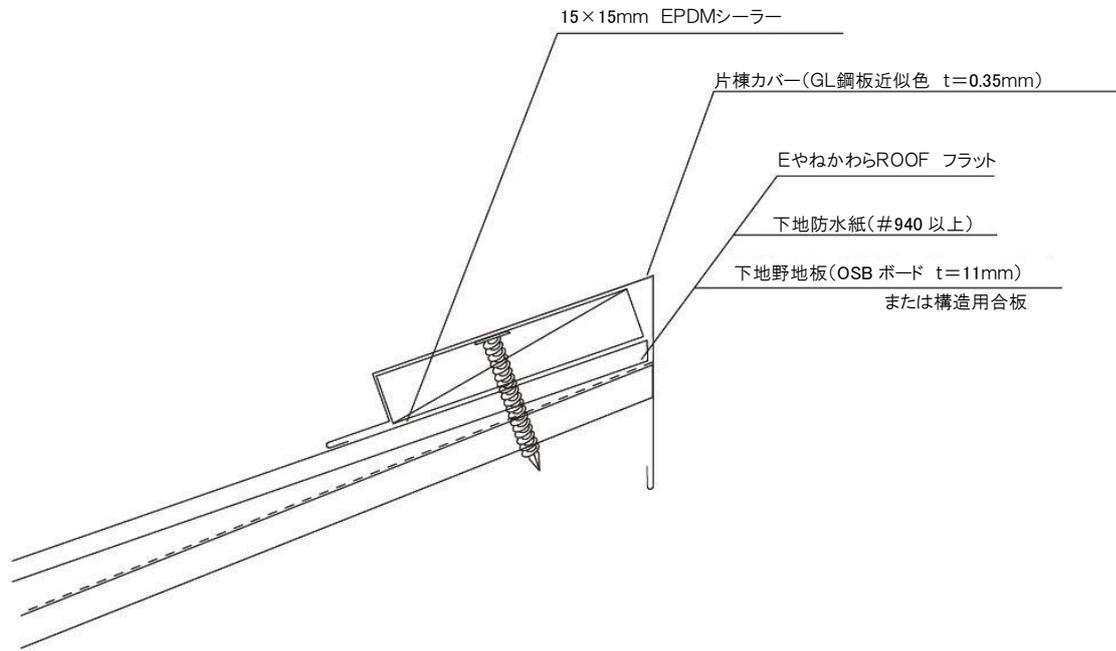
## 谷部の納まり



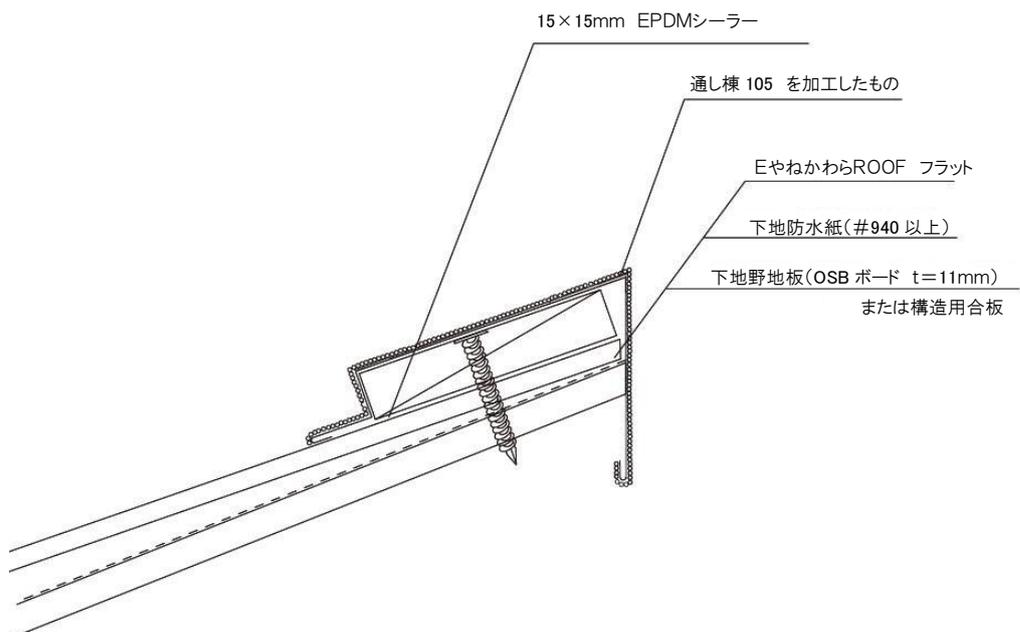
## 同質役物仕様ケラバの納まり



## 片棟の納まり



## 同質役物仕様ケラバの納まり



# MEMO

---







vol. 1 2016年12月